

茨城県修学生・修学生医師向け キャリア形成プログラム —令和3年度（2021年度）版—

【注意事項】

- 本キャリア形成プログラムは、現状での一つのモデルです。各病院の実際の研修内容等は、修学生の個々のキャリアに合わせ決定していくことになります。
- 各病院のプログラムは現在申請中であり、今後、連携施設（病院）等の内容は変更となる可能性があります。

発行：茨城県地域医療支援センター

令和3年度（2021年度）向け修学生向けキャリア形成プログラム（案） 目次

	ページ		ページ
【医師修学資金(地域枠・医師修学資金)制度について】		【産婦人科】	
「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度(地域枠)」及び		筑波大学附属病院	34
「茨城県医師修学資金貸与制度」について		土浦協同病院	35
地域枠制度と医師修学資金制度の比較			
【内科】		【眼科】	
筑波大学附属病院	1	筑波大学附属病院	36
水戸協同病院	2		
水戸済生会総合病院	3	【耳鼻咽喉科】	
水戸医療センター	4	筑波大学附属病院	37
県立中央病院	6		
日立総合病院	8	【泌尿器科】	
ひたちなか総合病院	9	筑波大学附属病院	38
土浦協同病院	10		
東京医科大茨城医療センター	11	【脳神経外科】	
		筑波大学附属病院	39
【小児科】		【放射線科】	
筑波大学附属病院	12	(放射線治療)	
土浦協同病院	13	筑波大学附属病院	40
県立こども病院	14	(放射線診断)	
		筑波大学附属病院	41
【皮膚科】		【麻酔科】	
筑波大学附属病院	15	筑波大学附属病院	42
東京医科大茨城医療センター (追加)	16	東京医科大茨城医療センター (追加)	43
【精神科】		【病理】	
筑波大学附属病院	17	筑波大学附属病院	44
県立こころの医療センター	18		
【外科】		【救急科】	
筑波大学附属病院	19	筑波大学附属病院	45
水戸医療センター	22		
県立中央病院	24	【形成外科】	
日立総合病院	27	筑波大学附属病院	46
土浦協同病院	28		
筑波記念病院	29	【リハビリテーション科】	
		筑波大学附属病院	47
【整形外科】		【総合診療】	
筑波大学附属病院	31	筑波大学附属病院	48
水戸協同病院	32	北茨城市民病院	50
土浦協同病院	33	県立中央病院 (削除)	

「茨城県地域医療医師修学資金貸与制度（地域枠）」及び「茨城県医師修学資金貸与制度」について

1 制度概要

項目	地域医療医師修学資金貸与制度（地域枠）		医師修学資金貸与制度
	【全国対象】		
概要	医師不足地域の医療機関に勤務意思を有する者に地域枠設置大学にて選抜試験を実施。入学者に修学資金を貸与（地域枠入学者に貸与）		医師不足地域の医療機関に勤務意思を有する者に修学資金を貸与
貸与条件	県内高校卒業者または県内居住者の子	筑波大学の出願資格を満たす者	<ul style="list-style-type: none"> 県内高校卒業者または県内居住者の子 筑波大学医学類生（県外出身も可）
貸与額	国公立大学 月 20 万円 （年 240 万円／6 年計 1,440 万円） 私立大学 月 25 万円 （年 300 万円／6 年計 1,800 万円）		月 15 万円 （年 180 万円 ／6 年計 1,080 万円）
貸与期間	正規の修学期間		正規の修学期間
返還免除	知事が指定する医療機関で9年間勤務（9年のうち1/2以上は医師不足地域に勤務）		県内医師不足地域で貸与期間と同期間勤務（貸与期間が3年未満の場合は3年）

2 地域枠設置数（53人）

筑波大学 36人（うち全国対象 10人）、東京医科大学 8人、東京医科歯科大学 2人、杏林大学 2人、日本医科大学 2人、北里大学 2人、帝京大学 1人

3 医師不足地域（令和2年(2020年)4月現在）

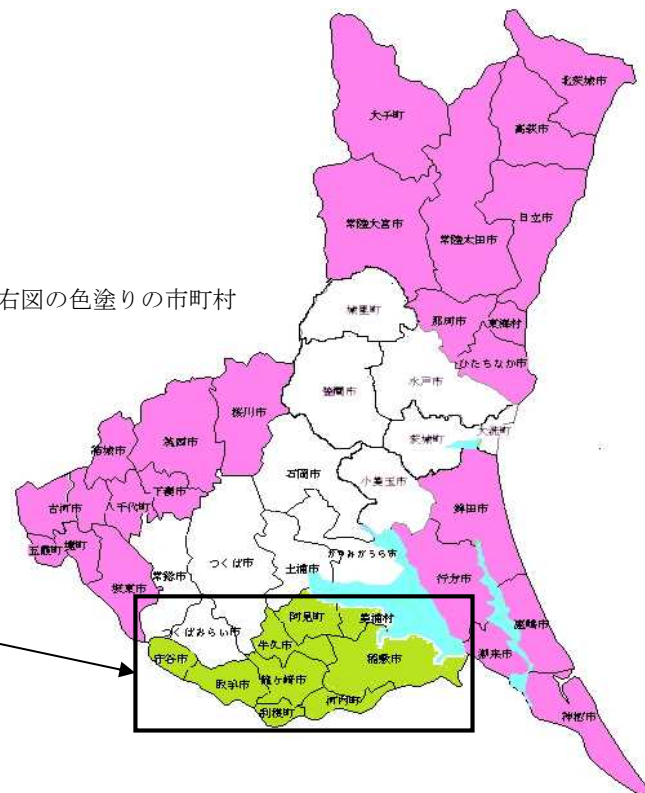
※右図の色塗りの市町村

- 日立二次保健医療圏
- 常陸太田・ひたちなか二次保健医療圏
- 鹿行二次保健医療圏
- 筑西・下妻二次保健医療圏
- 古河・坂東二次保健医療圏
- 取手・竜ヶ崎二次保健医療圏

（2020.4.1から新たに医師不足地域として取扱い）

（参考）医師不足地域の適用期間

- 令和2年度（2020年度）～ 令和5年度（2023年度）
 ※以降、3年毎に見直し予定



※R2年度以降入学者は、**臨床研修開始時点**の医師不足地域が適用されます。

地域枠制度と医師修学資金制度の比較

区 分	地域枠制度	医師修学資金制度
1 茨城県内での 従事義務	9年間	貸与期間と同期間 (3年未満の場合は3年)
医師免許取得後 直ちに	医師免許取得後 直ちに	医師免許取得後又は 大学病院(全国可)で初期 研修(猶予扱い)終了後直 ちに
2 医師不足地域 での従事期間	県内での従事義務期間の 2分の1以上 (4年半以上)	貸与期間と同期間 (3年未満の場合は3年)
3 認定専門研修		
医師不足地域外(県内) で研修する場合	—	1年 (義務期間算入)
県外で研修する場合	知事の認める期間 ※概ね3年を目安 (猶予扱い)	1年 (猶予扱い)

筑波大学附属病院 内科専門研修プログラム(地域枠、修学生)

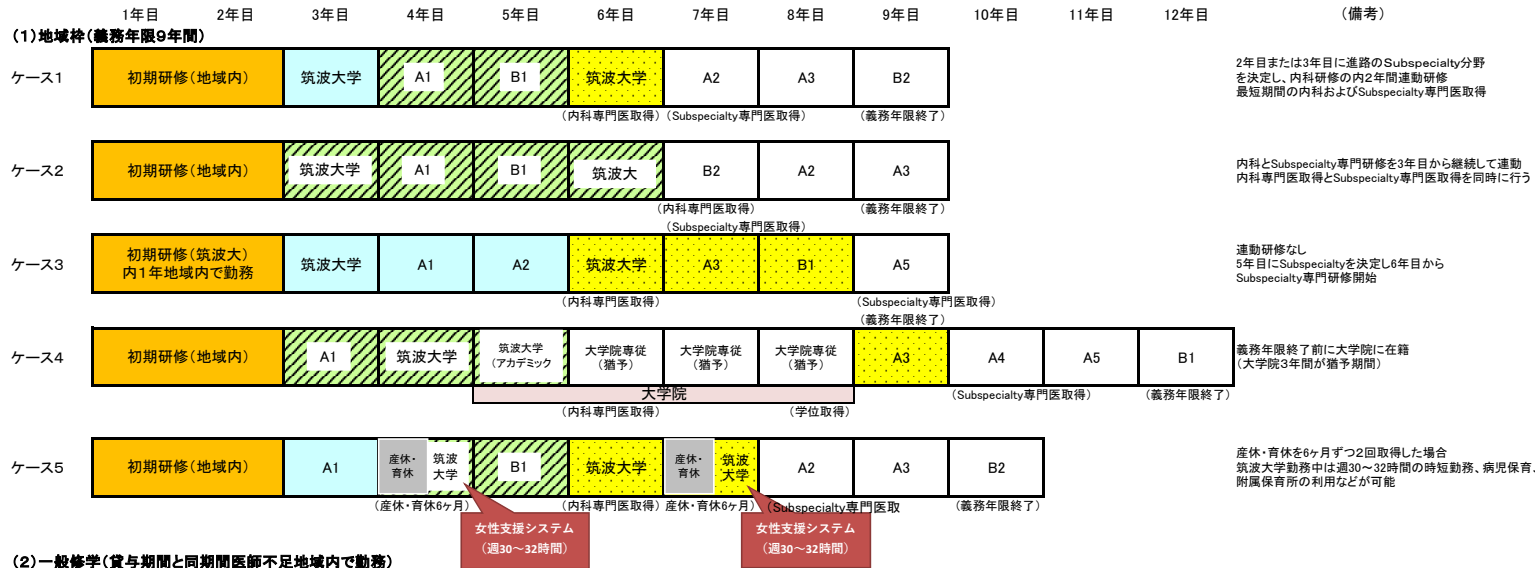
特徴

- 1) 内科10分野13領域のすべてに経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員がついて、個々に合わせた多彩なキャリアを支援します
- 2) 10分野のSubspecialty分野のプログラム・カリキュラムの基幹施設であり、内科専門研修からSubspecialty専門研修へと一環して研修できます。また、Subspecialty専門研修修了後に至る長期的視野のもと育成します
- 3) 最短期間で内科専門医とSubspecialty専門医の取得をすることが可能であり、早期取得を目指す場合「運動研修」が可能です。
- 4) 進路のSubspecialty分野を決めずに3年間内科を幅広く研修することが可能です(病院総合内科に所属します。)
- 5) 専門研修を行いながら大学院進学が可能です。(大学院専従中や留学中は義務年限猶予期間となります)
- 6) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修をアレンジします。

研修例：(あくまで例であって、個別にアレンジします)

オレンジ色	初期研修期間
水色	内科専門研修期間
黄色	内科系Subspecialty専門研修期間※
斜線	内科・Subspecialty運動研修※※期間

※Subspecialty専門研修に関しては、各分野において2020年6月現在日本専門医機構において分野に関して協議中
 ※※内科・Subspecialty運動研修とは内科専門医を取得するための症例経験とSubspecialty専門医を取得するための症例経験を並行して行っていく
 研修でプログラムを並行に進めるものです。(詳しくは内科学会ホームページをご参照ください)
 運動研修として認定される条件は各Subspecialty分野ごとに決まっております。(詳しくは各Subspecialty分野ホームページ等をご参照ください)



内科専門研修研修病院群

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内医療機関)	茨城県立中央病院、茨城西南医療センター、茨城東病院、日製日立総合病院、ひたちなか総合病院、水戸医療センター、水戸協同病院、水戸済生会病院、友愛記念病院、神栖済生会病院、北茨城市民病院、茨城県西部メディカルセンター、小山記念病院、土浦協同病院なめがた地域医療センター、日鉦記念病院、常陸大宮済生会病院、取手北相馬保険医療センター医師会病院、とりで総合医療センター、龍ヶ崎済生会病院、東京医大茨城医療センター、総合守谷第一病院、茨城県立医療大学付属病院、牛久愛和病院、つくばセントラル病院
B群病院群(医師不足地域外医療機関)	石岡第一病院、いちはら病院、霞ヶ浦医療センター、筑波学園病院、筑波記念病院、筑波メディカルセンター、土浦協同病院

水戸協同病院総合診療科（総合内科）：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴> 研修環境

- ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。
- ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。筑波大学附属図書館と直結したインターネット回線があり、筑波大学で契約している電子ジャーナルを共有しています。
- ・病院職員（常勤）として勤務環境が保障されています。
- ・メンタルストレスおよびハラスメントに適切に対処する部署があります（茨城県厚生連内）。
- ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室があります。
- ・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。
- ・全員に、専用の机・イス・インターネット回線（有線、Wi-Fi）があります。
- ・周辺は日本最高ランクのスーパー・グルメ地域

豊富な症例

専攻医 1 人あたりの受持ち患者数は、受持ち患者の重症度などを加味して、担当指導医、上級医の判断で 15 ～ 20 名程度を受持ちます。サブスペシャリティ領域に係わらず、入院患者を主担当医として退院するまで受持ちます。

- ・日本内科学会内科専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本病院総合診療医学会認定医が取得可能です。
- ・あるシニアレジデントの研修記録（6ヶ月間、入院計159例）

糖尿病 35例、心不全 18例、腎不全 16例、肺癌 9例、胆道疾患 8例、肝硬変 7例、精神疾患 7例、狭心症 6例、肺炎 5例、尿路感染症 5例、イレウス 4例、関節リウマチ 4例、蜂窩織炎 4例、上部消化管出血 3例、間質性肺炎 3例、脳梗塞 3例、虚血性腸炎 3例、大腸癌 3例、他に髄膜炎、感染性心内膜炎、胃癌、クローン病、気管支喘息、サルコイドーシス、尿管症、インスリノーマ、シェーグレン症候群、強皮症、副腎不全、等々

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1)地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	水戸協同病院(総診Attending)	水戸協同病院(総診Attending)	水戸協同病院(総診Attending)	水戸協同病院(総診Attending)	水戸協同病院(総診Attending)	水戸協同病院(総診Attending)	総合内科重点コース チーフレジデント制度あり
				内科専門医取得		総合内科専門医取得					
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	水戸協同病院(大学院所属)	水戸協同病院(大学院所属)	A3,B2,C2	水戸協同病院(大学院所属)	水戸協同病院(大学院所属)	水戸協同病院(大学院所属)	筑波大学社会人博士コース(総合診療科、代謝内分、循環器内科)
				内科専門医取得		総合内科専門医取得 医学博士取得					
ケース2	初期研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	水戸協同病院(代謝内分)	A3,B2,C2	水戸協同病院(代謝内分)	水戸協同病院(代謝内分)	A4,B3,C3	水戸協同病院(代謝内分)	サブスペシャリティコース(代謝内分、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科)
				内科専門医取得		内科サブスペシャリティ取得					
(2)一般修学(義務年限6年間)											
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	C1	水戸協同病院(総合診療科)	水戸協同病院(総合診療科)				総合内科重点コース 県外研修有り
				内科専門医取得		総合内科専門医取得					
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年、医師不足地域外1年)	水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	水戸協同病院(代謝内分)	水戸協同病院(代謝内分)	水戸協同病院(代謝内分)				サブスペシャリティコース
				内科専門医取得		総合内科専門医取得					

【総合内科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	高萩協同病院、茨城県立中央病院、水戸医療センター、水戸済生会総合病院、西南医療センター病院、ひたちなか総合病院、那珂記念クリニック
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、土浦協同病院
C群病院群(県外・海外病院)	都立多摩総合医療センター、麻生飯塚病院、虎の門病院分院、沖縄協同病院、中頭病院、浦添総合病院、豊見城中央病院、岡山大学病院、川崎幸病院、長崎大学病院、島根大学医学部付属病院、帝京千葉研修センター、獨協医科大学埼玉医療センター、八戸市民病院

水戸済生会総合病院 内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

当院が目指す医師像は、「疾患」ではなく、「患者さん」を総合的に診療できる能力を持つスペシャリスト(専門医)です。このため、当院の内科専門研修プログラムは、できるだけ早い時期にサブスペシャリティ領域の専門医資格を取得できるように配慮しています。具体的には、連携施設研修を早い時期に行い、サブスペシャリティ研修を組み込む「連動研修」を基本にローテーションを調整していきます。

また消化器内科、腎臓内科、循環器内科については、当院での研修のみでサブスペシャリティ専門医の受験資格が得られます。つまり、受験資格を満たすために(=経験症例を確保するために)施設の異動を行う煩わしさがありません。じっくりと腰を据えて、技術の取得と経験症例数の確保に専念できる環境です。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1)地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	初期研修	水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院		当院で最大限に研修する場合
						(内科専門医取得)		(Subspecialty専門医取得)	(義務年限修了)		
ケース2	初期研修	水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	B1	B2	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院		大学病院での研修を含んだ場合
						(内科専門医取得)		(Subspecialty専門医取得)	(義務年限修了)		
(2)一般修学(義務年限6年間)											
ケース1	初期研修	水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	水戸済生会総合病院						当院で最大限に研修する場合
						(内科専門医取得)					(義務年限修了)
ケース2	初期研修	水戸済生会総合病院	A1	水戸済生会総合病院	B1又はC1	水戸済生会総合病院					大学病院での研修を含んだ場合
						(内科専門医取得)					(義務年限修了)

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸済生会総合病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	水戸協同病院、水戸医療センター、ひたちなか総合病院、県立中央病院、水戸赤十字病院、茨城東病院、水府病院、城南病院、常陸大宮済生会病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院
C群病院群(県外・海外病院)	千葉大学医学部附属病院

水戸医療センター 内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

特徴

- 1) 当院の内科は循環器内科(2名)・消化器内科(3名)・呼吸器内科(4名)・血液内科(4名)・神経内科(4名)の5つの編成です（指導医数）。これらの指導医の中にはアレルギー専門医(2名)・腎臓専門医(1名)・リウマチ専門医(1名)資格保持者もいます。
- 2) 専攻医の希望や状況について、個別に相談してそれぞれに合ったモデルコースを選択し、研修状況や希望に合わせて随時修正できるようにします。

研修例

初期研修期間		内科専門研修期間			内科系Subspecialty専門研修期間※			
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目

①標準コース

初期研修	水戸医療センター	水戸医療センター／連携施設	サブスペシャル研修		
			大学院進学		

②サブスペシャル領域直結コース

初期研修	水戸医療センター／連携施設		サブスペシャル研修		
------	---------------	--	-----------	--	--

③茨城県修学生(向け)・地域医療重視コース

初期研修	水戸医療センター	水戸医療センター／連携施設	サブスペシャル研修(筑波大プログラムなど※)		
------	----------	---------------	------------------------	--	--

(義務年限終了)

④旧研修コース

初期研修	水戸医療センター/院外	総合内科研修			
		サブスペシャル研修			

(認定内科医取得) (総合内科専門医) (サブスペシャル専門医)

内科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群（医師不足地域内中核病院）	茨城県立中央病院、水戸協同病院、水戸済生会病院、水戸赤十字病院 志村大宮病院、水府病院、茨城東病院、ひたちなか総合病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院
C群病院群（県外・海外病院）	東北大学病院

※Subspecialty専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定いたします。

* 標準コース

1 年次			
血液内科 (基幹施設)	神経内科 (基幹施設)	循環器・救急 (基幹施設)	呼吸器・アレルギー (基幹施設)
2 年次			
消化器 (基幹施設)	代謝内分泌 (連携施設)	膠原病 (連携施設)	腎臓 (連携施設)
3 年次			
選択科① (連携施設)	選択科② (基幹・連携施設)	選択科③ (基幹・連携施設)	選択科④ (基幹・連携施設)

☆標準的な3年間で全コースをもれなくローテーションし、最終的に専攻科を決める

* サブスペシャル領域直結コース(消化器科専攻コース)

1 年次					
神経内科 (基幹施設)	血液内科 (基幹施設)	膠原病 (連携施設)	代謝内分泌 (連携施設)	腎臓 (連携施設)	循環器・救急 (基幹施設)
2 年次					
呼吸器 (基幹施設)	消化器 (基幹施設)	補充研修(基幹・連携施設)			
3 年次					
消化器(基幹施設または大学病院を含む連携施設)					

☆1診療科が2ヶ月間の短期研修の場合、規定の症例数の経験ができないことを想定し、補充期間を設ける(当院12ヶ月+ α 、連携施設12ヶ月+ α)

* 茨城県修学生(向き)・地域医療重視コース

1 年次					
血液内科 (基幹施設)	神経内科 (基幹施設)	循環器・救急 (基幹施設)	呼吸器・アレルギー (基幹施設)	消化器 (基幹施設)	腎臓 (連携施設)
2 年次					
代謝内分泌 (連携施設)	膠原病 (連携施設)	地域(連携施設・特別連携施設)			補充研修 (基幹・連携施設)
3 年次					
地域(特別連携施設)			地域(連携施設)		

☆当院での研修が12ヶ月、連携施設での研修が24ヶ月

* 旧専門研修コース

3年目

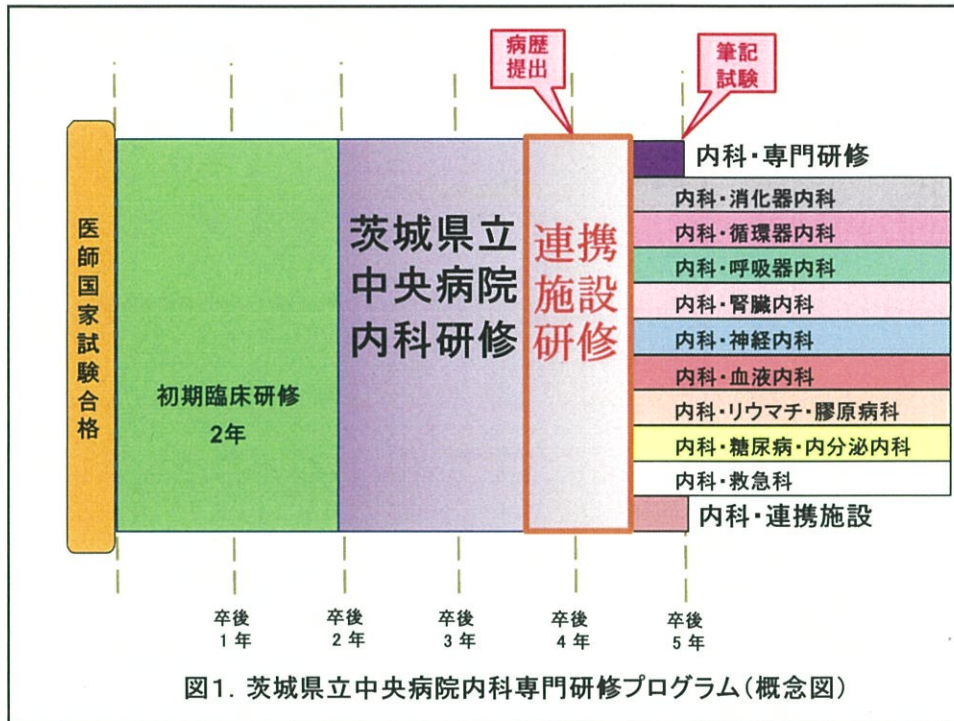
循環器	呼吸器	消化器	血液内科	神経内科	院外研修
-----	-----	-----	------	------	------

→3年目研修終了後、認定内科医の取得

4年目以降 → サブスペシャル領域研修

内科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群 (医師不足地域内中核病院)	茨城県立中央病院、水戸協同病院、水戸済生会病院、水戸赤十字病院、志村大宮病院、水府病院、茨城東病院、ひたちなか総合病院
B群病院群 (医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院
C群病院群 (県外・海外病院)	東北大学病院



茨城県立中央病院基幹プログラム

A-1 就業制限無し あるいは一般修学生向き

3年次 内科各科2ヶ月毎ローテーション

(例)循環—呼吸—消化—血液腫瘍—代謝内分泌糖尿病—リウマチ

4年次 前期:内科各科2ヶ月毎ローテーション (例)総合—神経—腎臓

後期:医師不足地域関連病院研修

5年次 前期:医師不足地域関連病院研修

後期:当院希望科あるいは院外研修

A-2 地域枠医師向き 自治医大卒業医師向き

3年次 内科各科2ヶ月毎ローテーション

(例)循環—呼吸—消化—血液腫瘍—代謝内分泌糖尿病—リウマチ

4年次 前期:内科各科2ヶ月毎ローテーション (例)総合—神経—腎臓

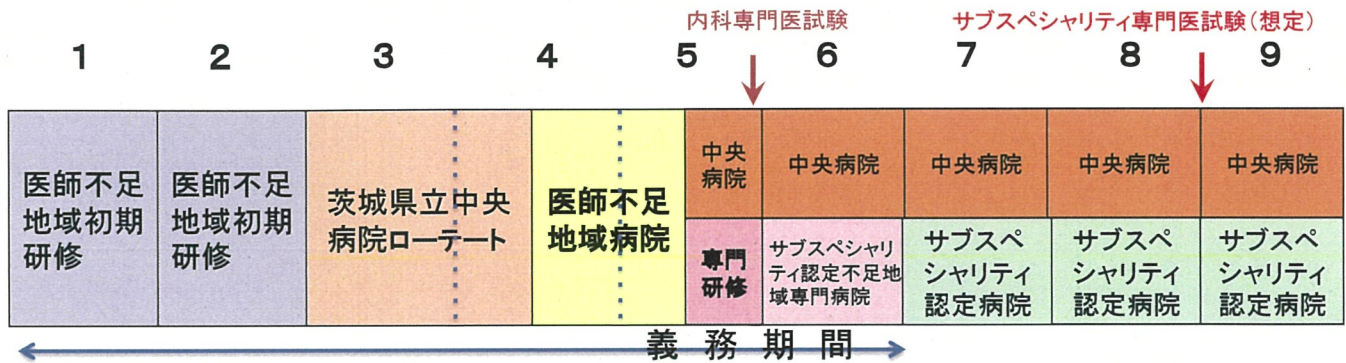
後期:医師不足地域関連病院研修

5年次 前期:医師不足地域関連病院研修

後期:当院希望科あるいは医師不足地域院外研修

専門医キャリア形成

A-1 一般修学生

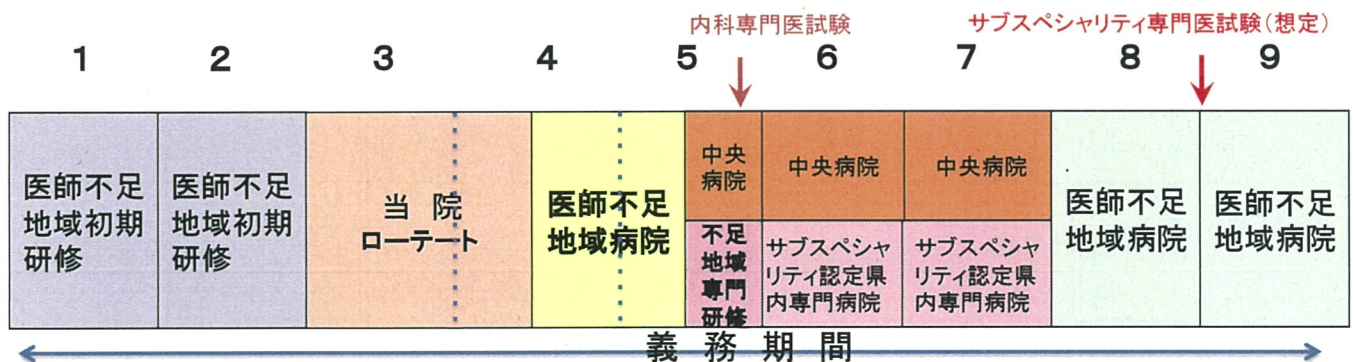


- ・ 茨城県内医師不足地域の従事義務6年間(貸与期間6年の場合)
- ・ 医師不足病院への派遣期間は1年間
- ・ 1～2年目を医師不足地域外で研修した場合、義務期間が2年間延びる
- ・ 5年目に医師不足地域外医療機関を希望する場合は、別途調整が必要となる

茨城県医師不足地域初期研修病院 茨城県立中央病院、水戸赤十字病院 水戸協同病院、水戸済生会病院 水戸医療センター、日立総合病院 ひたちなか総合病院、友愛記念病院 西南医療センター	医師不足地域病院 北茨城市民病院、常陸大宮 済生会病院、小山記念病院、 県西部メディカルセンター、 なめがた地域医療センター、 白十字総合病院、神栖済生 会病院など	筑波大学附属病院、東京 医科大学茨城医療セ ンター、東京女子医科 大学、ひたちなか総合 病院、水戸協同病院、 水戸済生会病院、石岡 第一病院、常陸大宮済 生会病院など	サブスペシャリティ認定 不足地域専門病院 茨城県立中央病院ほか
--	--	--	---------------------------------------

専門医キャリア形成

A-2 地域枠医師



- ・ 茨城県内の従事義務9年間
- ・ 医師不足地域の従事義務4.5年以上
- ・ 5年目に医師不足地域外医療機関を希望する場合は、別途調整となる。

茨城県医師不足地域初期研修病院 茨城県立中央病院、水戸赤十字病院 水戸協同病院、水戸済生会病院 水戸医療センター、日立総合病院 ひたちなか総合病院、友愛記念病院 西南医療センター	医師不足地域病院 北茨城市民病院、常陸大宮済生 会病院、小山記念病院、県西部 メディカルセンター、なめがた地 域医療センター、白十字総合病 院、神栖済生会病院など	ひたちなか総合病院、水 戸協同病院、水戸済生会 病院、石岡第一病院、常 陸大宮済生会病院など
--	--	---

日立総合病院内科専門研修プログラム(地域枠、修学生用資料)

特徴

- 1)プログラムとして、内科10分野13領域のすべてに経験豊富な指導医・専門医を揃え、1人1人に担任教員がつき、皆さんの内科専門研修を支援します
- 2)内科専門研修からSubspecialty専門研修まで一貫した研修ができるプログラムです。
- 3)subspecialtyが決まっている場合は、3年目からsubspecialty専門研修に入ることも可能です
 - * 初期研修中から積極的な症例登録を行うことを心がけてください。
 - * 連携施設での研修時期は変更可能。
 - * 専門医取得のために必要な場合は猶予制度を利用できる。
 - * 通算2年を超え医師不足地域以外で勤務する場合は医師不足地域派遣は4年間(一般修学資金制度は2年間)となる。

初期研修期間		内科専門研修期間						内科系Subspecialty専門研修期間※							
1年目	2年目	3年目前半	3年目後半	4年目前半	4年目後半	5年目前半	5年目後半	6年目前半	6年目後半	7年目前半	7年目後半	8年目前半	8年目後半	9年目前半	9年目後半

(1)地域枠(義務年限9年間)

サブスベ重点研修タイプ2年型	初期研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
日立総合病院を中心に最短期間で内科専門医とSubspecialty専門医取得をめざします。								(病歴提出)	(内科専門医取得)	(サブスベ専門医取得)	(義務年限終了)				

サブスベ重点研修タイプ1年型	初期研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
日立総合病院を中心に地域医療を経験しながら内科専門医とSubspecialty専門医取得をめざします。								(病歴提出)	(内科専門医取得)	(サブスベ専門医取得)	(義務年限終了)				

標準タイプ	初期研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	日立総合病院	日立総合病院	A3	A3
特定診療科に偏らず、余裕を持って満遍なく内科研修を行います。								(病歴提出)	(内科専門医取得)				(サブスベ専門医取得)	(義務年限終了)	

内科・サブスベ混合タイプ	初期研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
4年間やや余裕を持って内科研修を組み、サブスベ研修も行う。								(病歴提出)	(内科専門医取得)	(サブスベ専門医取得)	(義務年限終了)				

初期研修を医師不足地域外で行った場合。	初期研修(地域外)	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A2	A2	A3	A3	A4	A4
								(病歴提出)	(内科専門医取得)	(サブスベ専門医取得)	(義務年限終了)				

(2)一般修学(義務年限6年間)

内科標準タイプ	1年目	2年目	3年目前半	3年目後半	4年目前半	4年目後半	5年目前半	5年目後半	6年目前半	6年目後半	7年目前半	7年目後半	8年目前半	8年目後半	9年目前半	9年目後半
	初期研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設
日立総合病院を中心に最短期間で内科専門医取得をめざします								(病歴提出)	(内科専門医取得)	(義務年限終了)	(サブスベ専門医取得)					

内科・サブスベ混合タイプ	初期研修(地域内)	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	A2	A2	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	
Subspecialty専門研修を大病院で行うことも可能です								(病歴提出)	(内科専門医取得)	(義務年限終了)	(サブスベ専門医取得)					

ケース3	初期研修(地域外)	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	A1	A1	日立総合病院	日立総合病院	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	A2	A2	サブスベ認定施設	サブスベ認定施設	
初期研修を医師不足地域外で行った場合、義務年限は2年延長します。								(病歴提出)	(内科専門医取得)				(義務年限終了)	(サブスベ専門医取得)		

内科専門研修研修病院群

基幹病院	日立総合病院
A群病院群(医師不足地域内中核病院)	ひたちなか総合病院、北茨城市民病院、日鉱記念病院、東海村立病院、東京医大茨城医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、土浦協同病院

ひたちなか総合病院内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴> 自由度が高いプログラムです。地域医療に貢献できる総合的な実力を身につけ、将来の大学院、海外留学にも対応可能です。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします。

初期研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修
内科・Subspecialty連動研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 備考

(1)地域枠(義務年限9年間)

ケース1	初期研修(地域内)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設	SP認定施設	SP認定施設	A/B		
					内科専門医取得		Subspecialty専門医取得	義務年限終了		
ケース2	初期研修(地域内)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B C 県外病院(猪予)	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設	SP認定施設	SP認定施設	A/B	A/B	
					内科専門医取得		Subspecialty専門医取得	義務年限終了		内科専門研修期間中に半年間県外病院にて県内では学べない医療をする場合
ケース3	初期研修(地域外) 内1年地域内で勤務	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設	SP認定施設(地域内)	SP認定施設	A/B		
					内科専門医取得		Subspecialty専門医取得	義務年限終了		初期研修で1年地域内、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合) SP認定施設で1年地域内
ケース4	初期研修(地域外)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設(地域内)	SP認定施設(地域内)	SP認定施設	A/B		
					内科専門医取得		Subspecialty専門医取得	義務年限終了		初期研修0年地域内、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合) SP認定施設で2年地域内
ケース5	初期研修(地域内)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設(筑波大学)	海外留学(猪予)	SP認定施設	SP認定施設	A/B	
					内科専門医取得		Subspecialty専門医取得	義務年限終了		初期研修で2年地域内、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合)、海外留学1年(猪予)を想定したケース
ケース6	初期研修(地域内)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	筑波大学 (アカデミックレジデンシー)	大学院専従(猪予)	大学院専従(猪予)	SP認定施設	SP認定施設(地域内)	A/B
					内科専門医取得	大学院 (学位取得)		Subspecialty専門医取得	義務年限終了	初期研修で2年地域内、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合)、筑波大学大学院進学し、大学院専従2年間(猪予)を想定したケース

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修(地域内)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A	ひたちなか総合/A	SP認定施設(地域内)					
					義務年限終了		Subspecialty専門医取得			初期研修で2年地域内、内科専門研修で3年地域内(A群病院1年)、SP認定施設で1年地域内
ケース2	初期研修(地域内)	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設(地域内認定専門研修)	SP認定施設(地域内0.5外0.5)				
					内科専門医取得		Subspecialty専門医取得	義務年限終了		初期研修で2年地域内、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合)、SP認定施設で1.5年地域外(そのうち1年認定専門研修義務カウント)0.5年地域内
ケース3	初期研修(地域外) 内1年地域内で勤務	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A,B	ひたちなか総合/A,B	SP認定施設(地域内認定専門研修)	SP認定施設(地域内)	SP認定施設(地域内0.5外0.5)			
					内科専門医取得		Subspecialty専門医取得	義務年限終了		初期研修で1年地域内、内科専門研修で2.5年地域内(但しB群病院0.5年の場合)、SP認定施設で1.5年地域外(そのうち1年認定専門研修義務カウント)1.5年地域内
ケース4	初期研修(地域外) 内1年地域内で勤務	ひたちなか総合	ひたちなか総合/A	ひたちなか総合/A	SP認定施設(地域内)	SP認定施設(県外研修、猪予)	SP認定施設(地域内)			
					内科専門医取得		Subspecialty専門医取得	義務年限終了		初期研修で1年地域内、内科専門研修で3年地域内(但しA群病院1年)、SP研修を県外のSP認定施設で1年(県外猪予)、地域内SP認定施設2年

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	ひたちなか総合病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	県立中央病院、日立総合病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター、水戸協同病院、茨城東病院、なめがた地域総合病院、大宮済生会病院、友愛記念病院、村立東海病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、土浦協同病院
C群病院群(県外・海外病院)	諏訪中央病院

諏訪中央病院を追加、その他病院を削除
※[2020/6/15時点]プログラムを内科学会申請中(1次審査通過)

土浦協同病院 内科専門研修プログラム(地域枠、修学生)

特徴

- 1) 東京医科歯科大学、筑波大学と密接な関係をもち、最先端医療を含めた内科研修が可能
- 2) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員、およびメンターが付き個々に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
- 3) 内科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
- 4) 希望者には東京医科歯科大学の各専門内科領域講座に入学し、内科専門医取得後の様々なキャリア形成の支援が可能。社会人大学院入局による学位取得も支援可能
- 5) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。
- 6) 内科専門医取得後、あるいはSubspecialty専門研修後に個別の希望に合わせて海外留学によるキャリア形成支援が可能。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修
〇〇科・Subspecialty運動研修

(1) 地域枠(義務年限9年間) 義務年限終了までのサポートを個別に対応 その後のキャリアに関しても個別の希望に応じて



(備考)
初期研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣

初期研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣

初期研修1年が地域内たすき、2年目が土浦協同or筑波大 専門研修猶予活用で義務1年延長

初期研修2年が土浦協同病院または筑波大 専門研修猶予活用で義務1年延長

(2) 一般修学(義務年限6年間)



初期研修2年の後すべて指定病院へ派遣 専門研修の猶予活用で義務1年延長

初期研修の1年を土浦協同or筑波大で、専門研修後猶予活用で義務修了が8年目

初期研修の1年を県外で行い、専門研修後にも猶予活用で義務修了が9年目

初期研修を県外で行い、専門研修後でも猶予活用するため義務修了が10年目

地域病院例は日立総合病院やなめがた地域医療センター。今後さらに連携病院を増やしていく予定
地域病院研修中は週1回の研修を土協で行うことが可能
Subspecialty専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定いたします。

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立総合病院 ひたちなか総合病院 総合病院水戸協同病院 JAとりで総合医療センター なめがた地域医療センター 白十字総合病院 神栖済生会病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院
C群病院群(県外・海外病院)	東京医科歯科大学附属病院 柏市立柏病院 秀和総合病院 武蔵野赤十字病院 草加市立病院 JCHO 東京山手メディカルセンター 国立災害医療センター 東京都保健医療公社豊島病院 平塚共済病院 横浜南共済病院 横浜市立みなと赤十字病院 青梅市立総合病院

東京医科大学茨城医療センター内科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修	A群 医師不足地域内
内科専門研修	B群 医師不足地域外
内科系Subspecialty専門研修	C群 県外・海外
内科系Subspecialty連動研修	

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目 (備考)

(1) 地域枠（義務年限9年間）

初期研修を医師不足地域内で行いサブスペ専門医を取得するケース

ケース1
猶予なし

初期研修	内科専門研修	内科系Subspecialty連動研修	内科系Subspecialty専門研修							
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	連携施設	基幹・連携	基幹・連携	連携施設			
A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外
				内科専門医取得	サブスペ専門医取得					(義務年限修了)

ケース1'
猶予あり
3年の場合

初期研修	内科専門研修	内科系Subspecialty連動研修	内科系Subspecialty専門研修												
	茨城医療センター	茨城医療センター	連携施設	連携施設	連携施設	連携施設	連携施設	連携施設	連携施設	連携施設	基幹・連携	基幹・連携			
A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	C群 県外・海外	C群 県外・海外	C群 県外・海外	A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外
				内科専門医取得	サブスペ専門医取得										(義務年限修了)

初期研修を医師不足地域外で行いサブスペ専門医を取得するケース

ケース2
猶予なし

初期研修	内科専門研修	内科系Subspecialty連動研修	内科系Subspecialty専門研修							
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	連携施設	
B群 医師不足地域外	A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外
				内科専門医取得	サブスペ専門医取得					(義務年限修了)

初期研修を医師不足地域内と医師不足地域外で行いサブスペ専門医を取得するケース

ケース3
猶予なし

初期研修	内科専門研修	内科系Subspecialty連動研修	内科系Subspecialty専門研修							
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	連携施設	連携施設	連携施設	基幹・連携			
A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外	B群 医師不足地域外
				内科専門医取得	サブスペ専門医取得					(義務年限修了)

(2) 一般修学（義務年限6年間）

ケース1

初期研修	内科専門研修	内科系Subspecialty連動研修	内科系Subspecialty専門研修	
	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター
A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	B群 医師不足地域外	A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内
			内科専門医取得	
				(義務年限修了)

ケース2

初期研修	内科専門研修	内科系Subspecialty連動研修	内科系Subspecialty専門研修	
	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
A群 医師不足地域内	C群 県外・海外病院	A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内	A群 医師不足地域内
			内科専門医取得	
				(義務年限修了)

【内科専門研修研修病院群】

基幹病院	東京医科大学茨城医療センター
A群病院群（医師不足地域内病院）	北茨城市民病院、茨城県立中央病院、日立製作所日立総合病院、茨城西南医療センター病院、神栖済生会病院、宮本病院（特別連携施設）
B群病院群（医師不足地域外病院）	筑波大学附属病院、筑波記念病院
C群病院群（県外・海外病院）	東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター

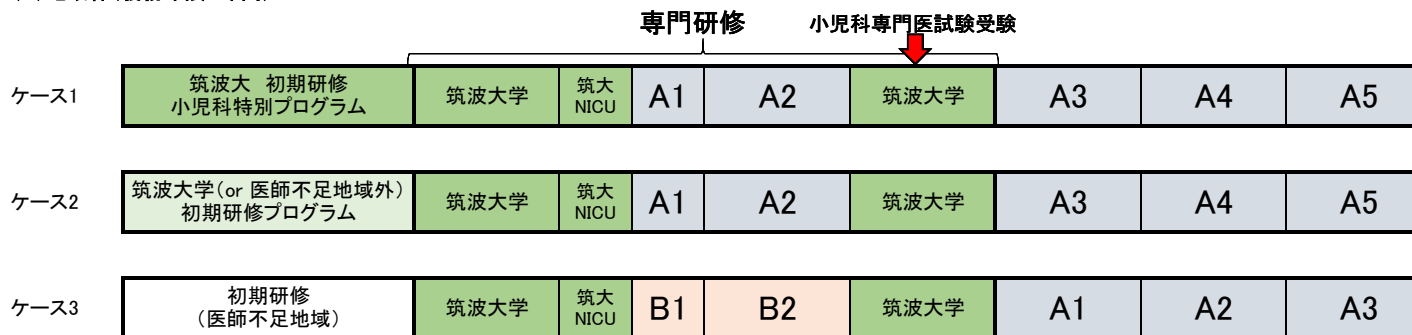
筑波大学附属病院 小児科専門研修プログラム(修学生医師)

<特徴>

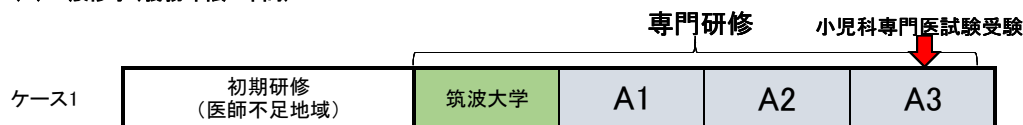
- 1) 地域枠、一般修学資金ともに、原則的に筑波大学・小児科専門医プログラムを選択します。
- 2) 専門研修では新専門医制度基幹施設(筑波大学附属病院)の指定した連携施設または関連施設(A, B病院)で研修します。
これらの病院は全て茨城県地域医療対策協議会で策定された周産期医療体制を構成する施設およびその後方支援施設です。
- 3) NICU(新生児集中治療室)は、6か月間の研修とし、筑波大学あるいは茨城県立こども病院で行います。
- 4) 専門研修の4年目(もしくは3年目)は、原則として筑波大学附属病院でチーフレジデントとして下級研修医の指導にあたる予定です。
- 5) 希望に応じて大学院進学、留学などの期間を設けることが可能です(猶予期間)。

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目

(1)地域枠(義務年限9年間)



(2)一般修学(義務年限6年間)



【小児科専門医研修病院群】

A病院(医師不足地域病院):茨城県立こども病院、茨城西南医療センター病院、茨城県西部メディカルセンター、日立総合病院、ひたちなか総合病院、茨城福祉医療センター、総合守谷第一病院、龍ヶ崎済生会病院
※ 7~9年目では、常陸大宮済生会病院も含まれます。

B病院(医師不足地域外病院):筑波メディカルセンター病院

【特色】 高度先進医療から小児科基礎知識まですべて習得!

- ・筑波大学の小児科研修プログラムは4年間です:論文作成から専門医受験の年まで指導体制がしっかりとしています。
- ・初期研修の小児科特別プログラム(2~4枠/年)では、初期から小児科に特化した研修を行うことが可能で、あなたのキャリアを早期からサポートします。

土浦協同病院小児科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1) 東京医科歯科大学、筑波大学をはじめとした様々な連携施設と密接な関係をもち、最先端医療を含めた小児科研修が可能
- 2) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
- 3) 小児科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
- 4) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
小児科専門研修
小児科系Subspecialty専門研修
〇〇科・Subspecialty運動研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1) 地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	土浦協同	土浦協同	A	土浦協同	土浦協同	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設			初期研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣
	小児2ヶ月			(小児科専門医取得)			(義務年限終了)				
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年)	土浦協同	土浦協同	A	土浦協同	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設			初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同
	小児2ヶ月			(小児科専門医取得)			(義務年限終了)				
ケース3	初期研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年)	土浦協同	土浦協同	B	土浦協同	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同専門研修で1年地域外のため、義務年限が1年延長
	小児2ヶ月			(小児科専門医取得)			(義務年限終了)				
ケース4	初期研修(土浦協同病院2年)	土浦協同	土浦協同	B	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		初期研修2年間に土浦協同病院専門研修で1年地域外のため、義務年限が1年延長
	小児2ヶ月			(小児科専門医取得)			(義務年限終了)				
(2) 一般修学(義務年限6年間)											
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	土浦協同(義務算入)	土浦協同(猶予)	A	土浦協同(猶予)	県外病院(猶予)	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設			初期研修2年の後すべて指定病院へ派遣 猶予活用で3年の義務延長あり
	小児2ヶ月			(小児科専門医取得)			(義務年限終了)				
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年(猶予))	土浦協同(義務算入)	土浦協同(猶予)	A	土浦協同(猶予)	県外病院(猶予)	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		初期研修中にも猶予を活用することで義務年限が4年延長
	小児2ヶ月			(小児科専門医取得)			(義務年限終了)				
ケース3	初期研修(土浦協同病院2年)	土浦協同(義務算入)	土浦協同(猶予)	A	医師不足地域内施設	県外病院(猶予)	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設	医師不足地域内施設		初期研修2年間に土浦協同病院初期・専門研修ともに猶予活用で義務年限が4年延長
	小児2ヶ月			(小児科専門医取得)			(義務年限終了)				

【小児科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	連携施設: 茨城県立こども病院、JAとりで総合医療センター 関連施設: 愛正会記念茨城福祉医療センター、茨城東病院、なめがた地域医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	連携施設: 筑波大学附属病院
C群病院群(県外・海外病院)	連携施設: 東京医科歯科大学病院、草加市立病院、川口市立医療センター、練馬光が丘病院など 関連施設: はるかか会あおぞら診療所

3. 注意事項

- ・専門研修プログラム、サブスペシャルティプログラムは東京医科歯科大学と連携している。
- ・初期研修・専門研修・サブスペシャルティ各段階プログラムをステップアップしていくことが可能。

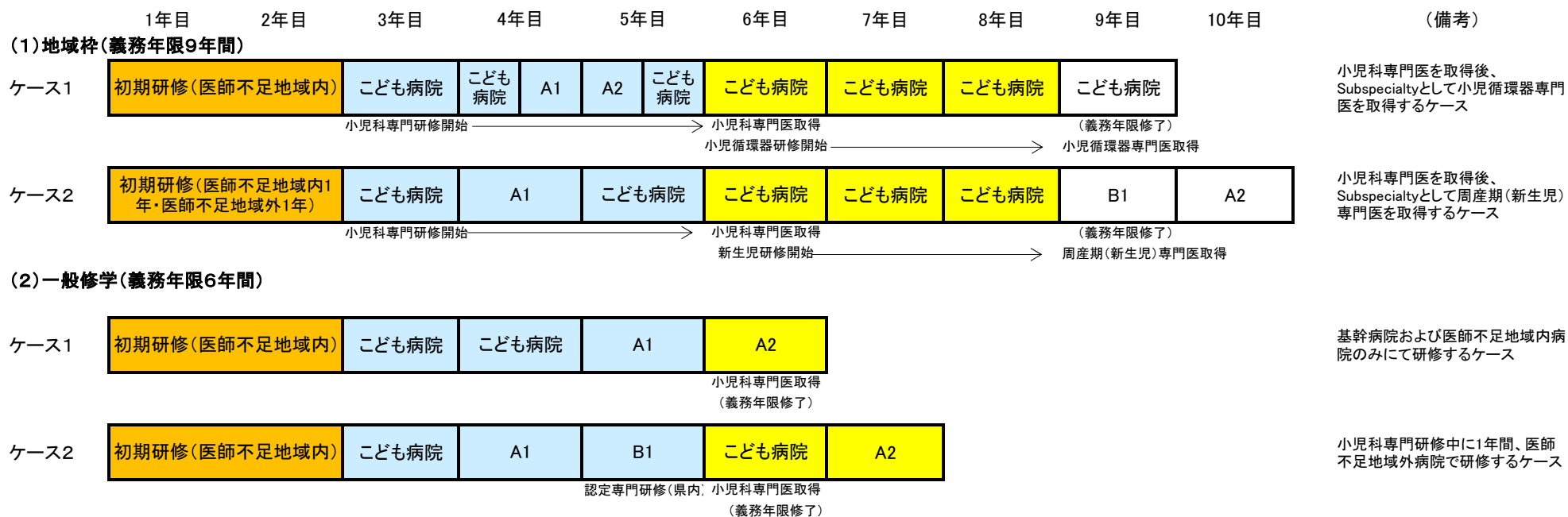
茨城県立こども病院小児科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- ・基幹病院が医師不足地域に位置しており、小児科専門医取得までの全研修期間を医師不足地域での勤務とすることが可能です。
- ・小児科専門医取得後はSubspecialtyの確立を目指し、更なるステップアップのために指導・配慮します。
- ・すぐに臨床に活かせる、超音波検査研修に力を入れています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
小児科専門研修
小児科系Subspecialty専門研修



【小児科専門研修研修病院群】

基幹病院	茨城県立こども病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	連携病院: 日製日立総合病院、日製ひたちなか総合病院、茨城福祉医療センター 関連病院: 水戸済生会総合病院、茨城県西部メディカルセンター、茨城東病院、茨城県立中央病院、常陸大宮済生会病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	連携病院: 筑波大学附属病院 関連病院: 土浦協同病院

筑波大学附属病院皮膚科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

経験豊かな多数の指導医のもと研修することができる。
連携施設は症例が豊富で多くのことが経験できる。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
皮膚科専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目

(1) 地域枠(義務年限9年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	筑波大学附属病院	B1	B2	A1	筑波大学附属病院	A2	A3
------	---------------	----------	----	----	----	----------	----	----

専門医試験受験

ケース2	初期研修(医師不足地域内)	筑波大学附属病院	A1	A2	筑波大学附属病院	C1	B1	A3	A4
------	---------------	----------	----	----	----------	----	----	----	----

専門医試験受験

(2) 一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	筑波大学附属病院	A1	A2	A3	A4
------	---------------	----------	----	----	----	----

専門医試験受験

ケース2	初期研修(医師不足地域内)	筑波大学附属病院	A1	A2	筑波大学附属病院	A3	A4
------	---------------	----------	----	----	----------	----	----

専門医試験受験

【皮膚科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立総合病院, 水戸済生会総合病院, 水戸協同病院, 水戸赤十字病院, 茨城県立中央病院 日製ひたちなか総合病院, 東京医科大学茨城医療センター, 牛久愛和総合病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院, 土浦協同病院
C群病院群(県外・海外病院)	埼玉医科大学国際医療センター、NTT東日本関東病院、がん・感染症センター都立駒込病院

東京医科大学茨城医療センター皮膚科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
皮膚科専門研修

基幹病院（医師不足地域）
A群 県外
B群 大学院（研究）

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目

（備考）

（1）地域枠（義務年限9年間）

ケース1	初期研修	皮膚科専門研修								
		茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）

皮膚科専門医取得（義務年限修了）

ケース2	初期研修	皮膚科専門研修								
		茨城医療センター	連携施設	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）

皮膚科専門医取得（義務年限修了）

ケース3	初期研修	皮膚科専門研修								
		茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	医師不足地域外	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）

皮膚科専門医取得（義務年限修了）

ケース4	初期研修	皮膚科専門研修								
		茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	東京医科大学	東京医科大学	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	B群 大学院	B群 大学院	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）

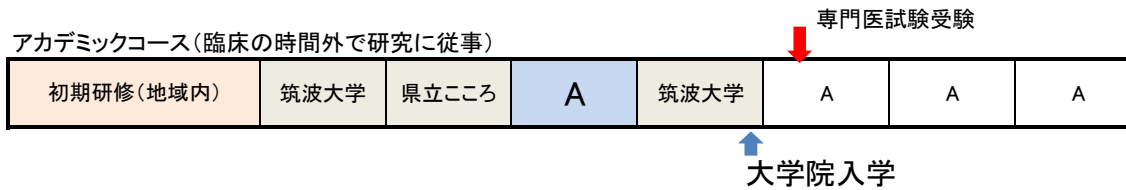
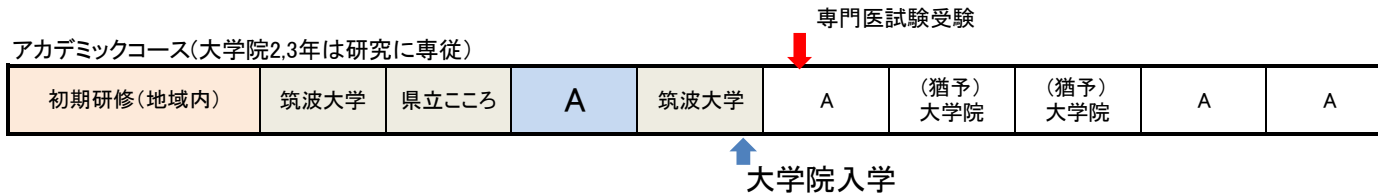
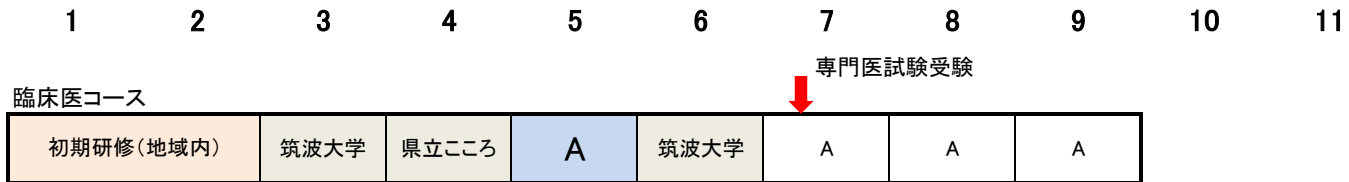
皮膚科専門医取得（義務年限修了）

【皮膚科専門研修研修病院群】

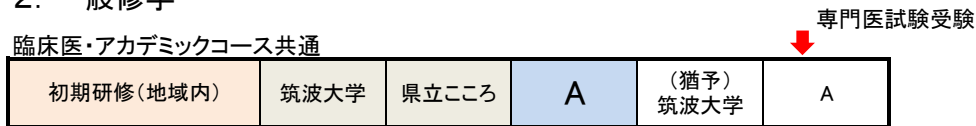
基幹病院（医師不足地域）	東京医科大学茨城医療センター
A群（県外）	東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、新座志木中央総合病院、戸田中央総合病院、上尾中央総合病院
B群 大学院（研究）	東京医科大学

筑波大学附属病院 精神神経科専門医プログラム

1. 地域枠



2. 一般修学



A群:	石崎病院、鹿島病院、栗田病院、汐ヶ崎病院、ホスピタル坂東
-----	------------------------------

大学病院以外では、週1回、筑波大学において研究に従事する

*3~5年目の研修は、研修時期が前後する可能性がある
(例 3年目: 県立こころ、4年目: 筑波大)

3. 注意事項

- 1) 地域枠医師は原則として、初期研修で医師不足地域外の病院を選択することはできない。
- 2) 一般修学生医師は6年目が猶予扱いになり、7年目で医師地域不足病院の義務を履行する。

茨城県立こころの医療センター精神科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

- <特徴>
- ① スーパー救急病棟でアクティブな精神科救急を研修できる県内唯一の施設。
 - ② 児童思春期、依存症、睡眠医療、災害精神医学、医療観察法など複数の専門領域を有する。
 - ③ 筑波大学や精神科クリニック、地域型認知症疾患医療センターの精神科病院と連携した研修。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
精神科専門研修
精神科系Subspecialty専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

(1) 地域枠(義務年限9年間)

初期研修(医師不足地域内)	県立こころ	県立こころ 週1:A1	A2,B	県立 こころ	県立こころ	県立こころ	県立こころ	県立こころ
		<small>認定専門研修(県内)</small>		<small>(精神科専門医取得)</small>	<small>(Subspecialty専門医取得)</small>		<small>(義務年限修了)</small>	

(2) 一般修学(義務年限6年間)

初期研修(医師不足地域内)	県立こころ	県立こころ 週1:A1	A2,B	県立 こころ	県立こころ
		<small>認定専門研修(県内)</small>		<small>(精神科専門医取得)</small>	<small>(義務年限修了)</small>

【精神科専門研修研修病院群】

基幹病院	茨城県立こころの医療センター
A群病院群(医師不足地域内病院)	1:水戸メンタルクリニック, 2:石崎病院と栗田病院のいずれかを3か月
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院3か月
C群病院群(県外・海外病院)	—

筑波大学附属病院外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

「伝統校」「名門校」の称号よりも、新しい、開かれた「先端校」「先進校」の理念を選んだ筑波大学の「Imagine the future」のスローガンの元、グローバル社会に開かれた環境で行われる「未来へのフロントランナー」としての外科医の養成を目指します。
年間12000件を超える豊富な症例数を誇る病院群を形成し、規定数をはるかに超える多くの症例の経験を提供します。
「研修医は黙ってみている」といった以前の権威主義的な外科教育は微塵もなく、専攻医を中心に据えた外科臨床を行っています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別に相談して決定します

外科専門医資格を取得するまでの3年(または4年)の内、1年6ヶ月は基幹病院である筑波大学附属病院外科で研修を行う。
専門以外の規定症例クレジットを担保する為に、他科のローテーションを6ヶ月まで認める。
大学院進学は、外科専門医取得後早期と、サブスペシャリティー外科専門医取得後の2つのタイミングで選択する事が出来る。
早期に大学院に進学した場合、その後サブスペシャリティー外科専門医資格を取得する臨床研修を行う。

(1) 地域枠(義務年限9年間)

基幹病院 Ba
A群病院群(医師不足地域内病院)
B群病院群(医師不足地域外病院)
C群病院群(県外・海外病院)

茨城県内(A、B 筑波大)で9年の義務 そのうち4.5年は医師不足地域(A群)で研修、県外または海外での研修期間 大学院進学時は猶予期間となる

ケース	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目
ケース1-1	初期研修(医師不足地域内2年)	Ba	A(6カ月)	A	A	Ba	BまたはBa	BまたはBa	BまたはBa				
						(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限修了)					
ケース1-2	初期研修(医師不足地域内2年)	A(6カ月)	Ba	Ba	C	A	BまたはBa	A	BまたはBa	BまたはBa			
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限修了)						
					認定専門研修(猶予)								
ケース2-1	初期研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	Ba	A(6カ月)	Ba	A	大学院	A	BまたはBa	A	BまたはBa			
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限修了)						
					認定専門研修(猶予)								
ケース2-2	初期研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	A(6カ月)	Ba	A	Ba	A	BまたはBa	A	BまたはBa				
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限修了)						
ケース3-1	初期研修(医師不足地域外2年)	Ba	A(6カ月)	Ba	A	A	A	BまたはBa	A				
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)	(義務年限修了)						
ケース3-2	初期研修(医師不足地域外2年)	A(6カ月)	Ba	Ba	C	A	A	A	BまたはBa	A			
					(外科専門医取得)	bspecialty専門医取得	(義務年限修了)						

*県外または海外での研修の場合 3年を目安に猶予期間とできる

*大学院進学の場合はその期間を猶予期間とできる

(2)一般修学(義務年限6年間)

基幹病院 Ba
A群病院群(医師不足地域内病院)
B群病院群(医師不足地域外病院)
C群病院群(県外・海外病院)

茨城県内医師不足地域(A群)での研修 6年の義務
 県内医師不足地域外(B群)での研修1年は義務機関に参入可(1年以内)
 県外または海外での研修期間 大学院進学時は猶予期間
 最終年は6か月で義務年限終了とできる

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目
ケース1-1	初期研修(医師不足地域内2年)	Ba	A(6か月)	Ba	A	A	A					
				(外科専門医取得)		(Subspecialty専門医取得)						(義務年限終了)
ケース1-2	初期研修(医師不足地域内2年)	A(6か月)	Ba	Ba	C	A	A	A				
				(外科専門医取得)	認定専門研修(猶予)	(Subspecialty専門医取得)						
ケース2-1	初期研修(医師不足地域内1年・ 医師不足地域外1年)	Ba	A(6か月)	Ba	A	大学院	A	A	A			
				(外科専門医取得)	認定専門研修(猶予)		(Subspecialty専門医取得)					(義務年限終了)
ケース2-2	初期研修(医師不足地域内1年・ 医師不足地域外1年)	A(6か月)	Ba	A	Ba	A	BまたはBa	A	BまたはBa	A		
					(外科専門医取得)		(Subspecialty専門医取得)					(義務年限終了)
ケース3-1	初期研修(医師不足地域外2年)	Ba	A(6か月)	Ba	A	A	A	A	A			
					(外科専門医取得)		(Subspecialty専門医取得)					(義務年限終了)
ケース3-2	初期研修(医師不足地域外2年)	A(6か月)	Ba	Ba	C	A	A	A	BまたはBa	A		
					(外科専門医取得)	(Subspecialty専門医取得)						(義務年限終了)

筑波大での研修1年分を義務期間に算入

5年目に猶予期間を活用し県外での研修を行う場合

外科専門医取得後大学院(4年)に進学する場合

医師不足地域と医師不足地域外での研修を交互に行う場合

基幹施設での研修の後 医師不足地域での研修を行う場合

基幹施設での研修後県外等で研修を1年行う場合

- *県外または海外での研修の場合 1年を目安に猶予期間とできる
- *大学院進学の場合はその期間を猶予期間とできる
- *県内医師不足地域外での研修は1年を義務期間に算入可

【消化器外科専門研修研修病院群】

基幹病院 Ba	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日製ひたちなか総合病院、日製日立総合病院、水戸協同病院、茨城県立中央病院、国立水戸医療センター、水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、水戸中央病院、友愛記念病院、西南医療センター病院、高萩協同病院、総合守谷第一病院、つくばセントラル病院、龍ヶ崎済生会病院など
B群病院群(医師不足地域外病院)	国立霞ヶ浦医療センター、筑波学園病院、筑波メディカルセンター、筑波記念病院など
C群病院群(県外・海外病院)	国立がん研究センター東病院、聖隷佐倉市民病院、埼玉県立がんセンターなど

【心臓血管外科専門研修研修病院群】

基幹病院 Ba	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日製日立総合病院、茨城県立中央病院、国立水戸医療センター、茨城県立こども病院、水戸済生会総合病院など
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波メディカルセンターなど
C群病院群(県外・海外病院)	東京都立小児総合医療センター、心臓病センター榊原病院、長野県立こども病院、関西医科大学、杏林大学など

【呼吸器外科専門研修研修病院群】

基幹病院 Ba	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日製日立総合病院、茨城東病院、日製ひたちなか総合病院、茨城県立中央病院、水戸協同病院、国立水戸医療センター、水戸済生会総合病院、西南医療センター病院など
B群病院群(医師不足地域外病院)	土浦協同病院、筑波メディカルセンター、筑波記念病院など
C群病院群(県外・海外病院)	自治医科大学病院・がん研有明病院など

【小児外科専門研修研修病院群】

基幹病院 Ba	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	茨城県立こども病院、茨城県立中央病院、JAとりで総合医療センターなど
B群病院群(医師不足地域外病院)	土浦協同病院など
C群病院群(県外・海外病院)	埼玉県立小児医療センター、竹田総合病院など

【乳腺甲状腺内分泌外科専門研修研修病院群】

基幹病院 Ba	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日製ひたちなか総合病院、日製日立総合病院、水戸協同病院、茨城県立中央病院、国立水戸医療センター、水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、友愛記念病院、西南医療センター病院、つくばセントラル病院など
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波学園病院、筑波メディカルセンターなど
C群病院群(県外・海外病院)	埼玉県立小児医療センター、竹田総合病院など

水戸医療センター 外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

研修例

初期研修期間		外科専門研修期間			Subspecialty 専門研修期間※			
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目

①連携施設研修先行コース

初期研修	連携施設 A	水戸医療センター	サブスペシャル研修	
------	--------	----------	-----------	--

②基幹施設研修先行コース

初期研修	水戸医療センター	連携施設 A/C	サブスペシャル研修	
------	----------	----------	-----------	--

③サブ領域展開コース

初期研修	水戸医療センター	連携施設 A	サブスペシャル研修	
------	----------	--------	-----------	--

④茨城県地域特化研修コース

初期研修	水戸医療センター	水戸医療センター／連携施設 A	サブスペシャル研修	A
------	----------	-----------------	-----------	---

(義務年限終了)

外科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群（医師不足地域内病院）	ひたちなか総合病院、水戸協同病院、茨城県立こども病院 常陸大宮済生会病院、水府病院、小山記念病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	-
C群病院群（県外・海外病院）	東北大学病院

※Subspecialty 専門研修に関しては、整備基準が専門医機構から提示された後、研修内容・期間・病院群など詳細決定いたします。

☆C群に東北大学病院の記載がありますが、地域枠修学生は、県外での研修は義務の消化にならず、猶予扱い（その分義務が伸びる）となります。

研修モデル

①連携施設研修先行コース

1～2年次に連携施設で研修を行い、3年次以降、基幹施設で研修を行う

コース	1年次	2年次	3年次
コース1	連携施設 A		水戸医療センター 連携施設 A
コース2	連携施設 A		水戸医療センター
コース3	連携施設 A		水戸医療センター

②基幹施設研修先行コース

研修1年次に水戸医療センターでの研修を6～12ヶ月間行い、2年次以降連携施設での研修を行う

コース	1年次	2年次	3年次
コース1	水戸医療センター	連携施設 A	
コース3	水戸医療センター	連携施設 A	連携施設 C
コース4	水戸医療センター	連携施設 C	連携施設 A

③サブ領域展開コース

研修1年次からサブスペシャリティを見据えて研修

コース	1年次	2年次	3年次
	水戸医療センター		連携施設 A 水戸医療センター

④茨城県地域特化研修コース

茨城県地域医療医師修学資金貸与者は連携施設より「指定施設」を選択した研修が可能

コース	1年次	2年次	3年次
コース1	連携施設 A		水戸医療センター 連携施設 A
コース2	連携施設 A		水戸医療センター
コース3	水戸医療センター	連携施設 A	

外科専門研修研修病院群

基幹病院	水戸医療センター
A群病院群（医師不足地域内病院）	ひたちなか総合病院、水戸協同病院、茨城県立こども病院 常陸大宮済生会病院、水府病院 小山記念病院
B群病院群（医師不足地域外病院）	-
C群病院群（県外・海外病院）	東北大学病院

1. 茨城県立中央病院 初期研修プログラム

ローテーションモデルケース

J1												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
内科						救急分野			外科(必修)			
消化器内科		呼吸器/血液内科		循環器/腎臓内科		総合診療科 + 救急科			消化器外科(血管外科含む)	麻酔科		
茨城県立中央病院(地域中核)												

J2												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
選択必修(うち2科目)			必修	自由選択(院外含む)								
小児科	産婦人科	精神科	地域医療	呼吸器/乳腺外科		循環器外科		消化器外科(血管外科含む)		整形外科	形成外科	
院内あるいは院外(6ヶ月以内)連携施設												

※ 初期研修として、原則内科を中心に研修

※ 外科専攻希望者は、自由選択で外科系各科をローテートし、手術症例を経験することも可能

(経験症例を外科専門プログラムへ積算可)

3. 県修学生(一般枠型)

※ 猶予制度を使用しない場合

※ 外科専門研修を主眼にした場合

※ 義務年限3-6年を想定

S1												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
消化器外科(血管外科含む)			呼吸器外科/乳腺外科			循環器外科			消化器外科(血管外科含む)			
茨城県立中央病院												
地域中核												

S2												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
小児外科(県立こども病院)			自由希望枠			院外連携施設						
小児外科		心臓血管外科	救急など不足分野あるいは領域分野			水戸協同あるいは日立製作所ひたちなか						
地域中核			地域中核あるいは地域中小			地域中核						

S3												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
院外連携施設						院外連携施設						
常陸大宮済生会あるいは北茨城市民						常陸大宮済生会あるいは北茨城市民						
地域中小						地域中小						
☆S3 終了後、外科専門医取得予定 (要:5年以上の修練施設での修練、外科学会会員)												

P1												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
院内あるいは院外連携施設						院内あるいは院外連携施設						
地域中小あるいは地域中核						地域中小あるいは地域中核						

※ 院外研修・勤務施設については相談可

※ 義務年限終了後、領域専門医など臨床医キャリアアップ、大学院進学などを自由選択

4. 県修学生(地域枠型)

☆消化器外科(領域専門医)モデルケース

S1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
消化器外科(血管外科含む)				呼吸器外科/乳腺外科			循環器外科			消化器外科(血管外科含む)		
茨城県立中央病院(基幹施設)												
地域中核												

S2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
小児外科(県立こども病院)			自由希望枠				院外連携施設					
小児外科		心臓血管外科	救急など不足分野あるいは領域分野				水戸協同あるいは日立製作所ひたちなか病院					
地域中核			地域中核				地域中核					

S3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設												
常陸大宮済生会あるいは北茨城市民病院												
地域中小												

☆S3 終了後、外科専門医取得予定 (要:5年以上修練施設での修練、外科学会会員)

P1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設												
水戸協同あるいは日立製作所ひたちなか病院												
地域中核												

P2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設												
常陸大宮済生会あるいは北茨城市民病院												
地域中小												

☆P2 終了以降、消化器外科専門医取得予定 (要:外科専門医、5年以上修練施設での修練、3年以上の会員歴)

P3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設												
常陸大宮済生会あるいは北茨城市民病院												
地域中小												

P4	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
基幹施設												
茨城県立中央病院												
地域中核												

※院外研修・勤務施設については相談可 ※義務年限終了後、臨床医キャリアアップ、大学院進学などを自由選択

4. 県修学生(地域枠型)

☆呼吸器外科(領域専門医)モデルケース

S1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
消化器外科(血管外科含む)			呼吸器外科/乳癌外科			循環器外科			消化器外科(血管外科含む)			
茨城県立中央病院(基幹施設)												
地域中核												

S2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
小児外科(県立こども病院)			自由希望枠			院外連携施設						
小児外科		心臓血管外科	救急など不足分野あるいは領域分野			水戸協同あるいは日立製作所ひたちなか病院						
地域中核			地域中核			地域中核						

S3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設												
常陸大宮済生会あるいは北茨城市民病院												
地域中小												

☆S3 終了後、外科専門医取得予定 (要:5年以上修練施設での修練、外科学会会員)

P1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設												
水戸協同あるいは日立製作所ひたちなか病院												
地域中核												

P2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設												
常陸大宮済生会あるいは北茨城市民病院												
地域中小												

☆P2 終了以降、呼吸器外科専門医取得予定

(要:外科専門医、卒後7年以上、3年以上修練施設での修練、3年以上の会員歴(日本呼外学会、日本胸外学会))

P3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
院外連携施設												
常陸大宮済生会あるいは北茨城市民病院												
地域中小												

P4	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
基幹施設												
茨城県立中央病院												
地域中核												

※院外研修・勤務施設については相談可

※義務年限終了後、臨床医キャリアアップ、大学院進学などを自由選択

日立総合病院外科専門研修プログラム(地域枠、修学生用資料)

特徴

- 1)プログラムとして、経験豊富な指導医・専門医を揃え、1人1人に担任教員がつき、皆さんの外科専門研修を支援します。
- 2)救命センターもあり、幅広く様々な外科系疾患を経験できます。

	初期研修期間 1年目 2年目		外科専門研修期間 3年目 4年目 5年目			外科系Subspecialty専門研修期間 6年目 7年目 8年目 9年目				10年目
(1)地域枠(義務年限9年間)										
ケース1	初期研修(地域内)		ひたちなか総合病院	日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	医師不足地域内病院	医師不足地域内病院	日立総合病院
			4月～9月 10月～3月							
						(外科専門医取得)				(義務年限終了)
ケース2	初期研修(地域内)		日立総合病院	日立総合病院	日立総合病院	ひたちなか総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	医師不足地域内病院	日立総合病院
			4月～9月 10月～3月							
						(外科専門医取得)				(義務年限終了)
(2)一般修学(義務年限6年間)										
ケース1	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目		
	初期研修(地域内)		ひたちなか総合病院	日立総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	日立総合病院	日立総合病院		
			4月～9月 10月～3月							
						(外科専門医取得)		(義務年限終了)		
ケース2	初期研修(大学病院)		ひたちなか総合病院	日立総合病院	日立総合病院	医師不足地域内病院	日立総合病院	医師不足地域内病院		
			4月～9月 10月～3月							
						(外科専門医取得)		(義務年限終了)		

注1 : ひたちなか総合病院での研修は3年目または5年目とし、希望により1年間とすることも可能です。

注2 : 外科系Subspecialty専門研修期間は、6年目以降の医師不足地域内中小病院研修機関で希望するSubspecialty専門医取得の要件となる症例有無および症例件数により、Subspecialty専門医取得年が異なります。

- ①消化器外科 : 7～10年目で取得
- ②呼吸器外科 : 9～10年目で取得
- ③乳腺外科 : 7～10年目で取得
- ④心臓血管外科 : 8～10年目で取得

注3 : Subspecialty専門研修に関しては、整備基準が提示された後、各subspecialty学会認定の医師不足地域内中小病院を追加する予定です。

土浦協同病院外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1)最先端医療を含めた外科研修が可能
- 2)経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、個々に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
- 3)外科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修終了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
- 4)研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
外科専門研修
外科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1)地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	土浦協同病院	土浦協同病院	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	土浦協同病院	土浦協同病院	地域病院	地域病院			初期研修の後すべて指定病院へ派遣
				(外科専門医取得)				(義務年限修了)			
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年)	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	土浦協同病院	土浦協同病院	土浦協同病院	地域病院	地域病院			初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同
				(外科専門医取得)				(義務年限修了)			
ケース3	初期研修(土浦協同病院2年)	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	土浦協同病院	土浦協同病院	地域病院	地域病院	地域病院			初期研修2年間に土浦協同病院
				(外科専門医取得)				(義務年限修了)			
(2)一般修学(義務年限6年間)											
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	土浦協同病院 (義務期間算入)	土浦協同病院 (猶予)	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	地域病院	地域病院					初期研修の後すべて指定病院へ派遣 猶予1年活用で義務延長あり
				(外科専門医取得)		(義務年限修了)					
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年(猶予))	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	土浦協同病院 (義務期間算入)	土浦協同病院 (猶予)	地域病院	地域病院	地域病院				初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同 専門研修で猶予1年活用のため義務延長あり
				(外科専門医取得)		(義務年限修了)					
ケース3	初期研修(土浦協同病院2年(猶予))	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	ひたちなか総合病院 または友愛記念病院	土浦協同病院 (義務期間算入)	地域病院	地域病院	地域病院				初期研修2年間に土浦協同病院のため、 猶予活用で義務延長あり
				(外科専門医取得)		(義務年限修了)					

【外科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	ひたちなか総合病院、友愛記念病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	—
C群病院群(県外・海外病院)	東京医科歯科大学附属病院

筑波記念病院外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- ・全国的にもトップレベルにあるリハビリテーション(リハ)機能を有しており、運動器リハ以外に、がんリハ、心リハ、呼吸器リハ、無菌室リハなど、患者の退院後のQOLの向上に大きく寄与している。
- ・地域に密着した地域医療の中核をなす筑波記念病院でのprimary careを核とした臨床研修は、高度な外科臨床能力を基礎にした患者に寄り添う優れた医師を育てられる環境・医療水準を有している。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
外科専門研修
外科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	初期研修(医師不足地域外)	筑波記念病院	A1	B1、A2	A3	A4	A5	A6、筑波記念病院			
					(外科専門医取得)			(義務年限修了)			
ケース2	初期研修(医師不足地域内)	筑波記念病院	A1	B1、A2	A3	A4	A5、筑波記念病院	筑波記念病院			
					(外科専門医取得)			(義務年限修了)			

【外科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波記念病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	小豆畑病院、川崎胃腸科肛門科病院、北茨城市民病院、東京医科大学茨城医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	茨城県立こども病院
C群病院群(県外・海外病院)	-

外科基本コース												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	初期研修(筑波記念病院)											
2年目	初期研修(筑波記念病院・院外)											
3年目	筑波記念病院 消外/心外/呼外									筑波記念病院 3科から選択		
4年目	東京医科大学茨城医療センター						小豆畑病院			茨城県立こども病院		
5年目	北茨城市民病院			川崎胃腸科肛門科病院			記念 3科から選択					

地域枠 専門医養成コース(初期研修から当院)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	初期研修(筑波記念病院)											
2年目	初期研修(筑波記念病院・院外)											
3年目	筑波記念病院 消外/心外/呼外									筑波記念病院 3科から選択		
4年目	北茨城						川崎胃腸科肛門科					
5年目	東京医科大学茨城医療センター						茨城県立こども病院			小豆畑病院		
6年目	小豆畑病院											
7年目	北茨城市民病院											
8年目	北茨城市民病院											
9年目	東京医科大学茨城医療センター						筑波記念病院 3科から選択					

地域枠 専門医養成コース(後期研修から当院)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	初期研修(医師不足地域)											
2年目	初期研修(医師不足地域)											
3年目	筑波記念病院 消外/心外/呼外									筑波記念病院 3科から選択		
4年目	北茨城						川崎胃腸科肛門科					
5年目	東京医科大学茨城医療センター						茨城県立こども病院			小豆畑病院		
6年目	小豆畑病院											
7年目	北茨城市民病院											
8年目	北茨城市民病院									筑波記念病院 3科から選択		
9年目	筑波記念病院 3科から選択											

筑波大学附属病院 整形外科:キャリア形成プログラム(修学生医師向け)

		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	
		初期研修医		後期研修医:筑波大学附属病院レジデント				臨床フェロー							
医師修学 資金貸与 6年	貸与期間1-3年	初期研修:A群1年半以上	筑波大学	A群	A群	B群(or C群)	B群(or C群)	←4年目終了							
	貸与期間4年	初期研修:A群1年半以上	筑波大学	A群	A群	A群	B群(or C群)	←5年目終了							
	貸与期間5年	初期研修:A群1年半以上	筑波大学	A群	A群	A群	A群	←6年目終了							
	貸与期間6年	初期研修:A群1年半以上	筑波大学	A群	A群	A群	A群	A群	筑波大学	A群	←終了				
地域枠 制度 9年	初期研修:県内2年	初期研修:A群1年半以上	A群	筑波大学	A群	A群	A群	A群	筑波大学	A群	A群(or B群)	A群(or B群)	←終了		
	初期研修:県内1年	初期研修:A群1年	筑波大学	A群	A群	A群	A群	筑波大学	A群	A群(or B群)	A群(or B群)	A群(or B群)	←終了		
	初期研修:県外	初期研修:県外	筑波大学	A群	A群	A群	A群	筑波大学	A群	A群	A群(or B群)	A群(or B群)	A群(or B群)	←終了	
	大学院希望	初期研修:県内2年	A群	筑波大学	A群	A群	A群	筑波大学	A群	大学院進学(猶予期間)			A群	A群(or B群)	←終了

↑ 専門医試験
↑ レジデント終了

- * 整形外科専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要 それ以外に、7年目に大学での臨床フェロー(チーフレジデント)
- * どのケースでも、県外での研修・大学院を希望した場合は、猶予期間を設けて柔軟に対応する
- * 留学を希望する場合は、大学院入学後とし、猶予期間を設けて柔軟に対応する

A群	医師不足地域内病院	ひたちなか総合病院、水戸協同病院、水戸済生会病院、水戸赤十字病院、水戸医療センター、西南医療センター、高萩協同病院、県西部メディカルセンター、小山記念病院、アントラーズスポーツクリニック、取手医師会病院、龍ヶ崎済生会病院、つくばセントラル病院、東京医大茨城医療センター、茨城県立医療大学、守谷第一病院
B群	医師不足地域外病院	筑波大学、いちほら病院、筑波記念病院、筑波メディカルセンター、筑波学園病院、霞ヶ浦医療センター、きぬ医師会病院
C群	県外病院	キッコーマン総合病院、松戸市立病院、柏市立病院、船橋整形外科、公立昭和病院

水戸協同病院 整形外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴> 二次救急病院として地域の中核病院としての自覚を持ち、地域のかかりつけ医の先生方と連携をとり、それぞれの役割のなかで総合的に医療を進めるようにしています。外傷患者さまは救急部と連携し積極的な受け入れを行っております。また近年増加傾向にある合併症の多い患者さまに対しても、内科をはじめとした他科との連携のもと、集学的に治療に当たっております。治療にあたっては、手術のみではなく、適切な保存治療も行って、またリハビリテーション部と密接に連携することで、より高いレベルでの早期離床、早期復帰を目指しております。

整形外科的疾患のすべてを診察していますが、それぞれの専門分野の診療にも力を入れ、より高度な医療の提供に努めています。

上肢：肩関節周囲炎、変形性肘関節症、手根管症候群、関節リウマチなど

脊椎：頚椎症性脊髄症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど

関節：変形性関節症、関節リウマチなど

スポーツ：疲労骨折、肩関節脱臼、野球肘、靭帯断裂、半月断裂など

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
整形外科専門研修
整形外科系Subspecialty専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 (備考)

(1) 地域枠(義務年限9年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	A1,筑波大学	水戸協同病院	A2	A3	B,筑波大学	A4	水戸協同病院
------	---------------	---------	--------	----	----	--------	----	--------

専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要

ケース2	初期研修(医師不足地域内)	筑波大学,A1	水戸協同病院	A2	A3	B,筑波大学	大学院進学	大学院進学	A4	水戸協同病院
------	---------------	---------	--------	----	----	--------	-------	-------	----	--------

専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要

(2) 一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	A1,筑波大学	水戸協同病院	A2	水戸協同病院
------	---------------	---------	--------	----	--------

専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要

ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	筑波大学,A1	水戸協同病院	A2	A3	水戸協同病院
------	---------------------------	---------	--------	----	----	--------

専門医プログラムを終了するためには少なくとも6か月の大学研修が必要

【整形外科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	ひたちなか総合病院、水戸済生会総合病院、水戸赤十字病院、水戸医療センター、西南医療センター、高萩協同病院、なめがた地域総合病院、県西総合病院、茨城県立医療大学
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学
C群病院群(県外・海外病院)	—

土浦協同病院 整形外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1) 東京医科歯科大学をはじめとした様々な連携施設と密接な関係をもち、最先端医療を含めた整形外科研修が可能
- 2) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に合わせた多彩なキャリア形成を支援します
- 3) 整形外科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修修了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
- 4) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
整形外科専門研修
整形外科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1) 地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	土浦協同病院	県外(猶予)	地域内	土浦協同病院	土浦協同病院	地域内	地域内	地域内		初期研修2年の後すべて指定病院。 1年猶予活用で義務期間延長あり
	(専門医取得)					(義務年限修了)					
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年)	県外(猶予)	地域内	地域内	土浦協同	土浦協同病院	地域内	地域内	地域内		初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同 1年猶予活用で義務期間延長あり
	(専門医取得)					(義務年限修了)					
ケース3	初期研修(土浦協同病院2年)	県外(猶予)	地域内	地域内	土浦協同	地域内	地域内	地域内	地域内		初期研修2年を土浦協同病院 1年猶予活用で義務期間延長あり
	(専門医取得)					(義務年限修了)					
(2) 一般修学(義務年限6年間)											
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	地域内	県外(猶予)	地域内	土浦協同(義務算入)	地域内					初期研修2年の後すべて指定病院。 1年猶予活用で義務期間延長あり
	(専門医取得)					(義務年限修了)					
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年(猶予))	県外(猶予)	地域内	地域内	土浦協同(義務算入)	地域内	地域内				初期研修中の土浦協同と専門研修中の県外の 猶予活用で義務年限が2年延長
	(専門医取得)					(義務年限修了)					
ケース3	初期研修(土浦協同病院2年)	県外(猶予)	地域内	地域内	土浦協同(義務算入)	地域内	地域内	地域内			初期研修2年間の土浦協同と専門研修中の県外 1年猶予活用で義務年限が3年延長
	(専門医取得)					(義務年限修了)					

【整形外科専門研修研修病院群】

基幹病院	土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	北水会記念病院、JAとりで総合医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	—
C群病院群(県外・海外病院)	東京医科歯科大学附属病院、がん研究会有明病院、九段坂病院、日産厚生会玉川病院、草加市立病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、新渡戸記念中野総合病院、同愛記念病院、練馬総合病院

※ 地域内病院研修中は週1回の研修を土浦協同病院で行うことが可能

筑波大学附属病院産婦人科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 3年目以降の義務期間は、県の指定する周産期母子医療センター等あるいは医師不足地域内に派遣する。
- 下記プランは一例を示したものであり、具体的な派遣先はキャリア形成の視点や政策的な優先課題を踏まえ地域医療対策協議会の審議等を経て決定される。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		7年目		8年目		9年目		10年目	
						7月産婦人科専門医試験						10月周産期専門医試験									
						～9月		10月～		～9月		10月～									
初期研修	産婦人科専門研修																				
	周産期専門医研修																				
(1)地域枠(義務年限9年間)	産婦人科腫瘍専門医研修																				
	生殖医療専門医研修																				
	女性医学専門医研修																				
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	筑波大学*	水戸済生会総合病院	茨城西南医療センター病院	高萩協同病院	高萩協同病院	筑波大学	水戸済生会病院		日立総合病院											
*筑波学園病院における3ヶ月間の生殖医療研修を含む 7年間すべて指定病院に派遣 (義務年限修了)																					
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・医師不足地域外1年)	筑波大学*	水戸済生会総合病院	茨城西南医療センター病院	日立総合病院	日立総合病院	筑波大学	茨城県立中央病院		小山記念病院	高萩協同病院										
*筑波学園病院における3ヶ月間の生殖医療研修を含む 8年間すべて指定病院に派遣 (義務年限修了)																					
(2)一般修学(義務年限6年間)																					
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	筑波大学*	龍ヶ崎済生会病院	水戸済生会病院	筑波大学	高萩協同病院															
4年間すべて指定病院に派遣 (義務年限修了)																					
ケース2	初期研修(医師不足地域内)	筑波大学*	NTT東日本関東病院	水戸済生会病院	筑波大学	高萩協同病院	小山記念病院														
県外研修(猶予) 5年間すべて指定病院に派遣 (義務年限修了)																					

【産婦人科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院①
A群病院群(医師不足地域内病院)	水戸済生会総合病院①、茨城西南医療センター病院②、JAとりで総合医療センター②、水戸赤十字病院②、茨城県立中央病院、日立総合病院②、龍ヶ崎済生会病院、小山記念病院③、高萩協同病院④、白十字総合病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	土浦協同病院①、筑波学園病院③、筑波記念病院
C群病院群(県外・海外病院)	NTT東日本関東病院、東葛病院

- ①総合周産期母子医療センター
- ②地域周産期母子医療センター
- ③周産期救急医療協力病院
- ④その他必要と認められる病院

土浦協同病院産婦人科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1) 多くの連携施設と密接な関係を持ち、最先端医療を含めた産婦人科研修が可能
- 2) 経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、多彩なキャリア形成を支援します
- 3) 産婦人科専門医取得後もSubspecialty専門研修が継続して可能で、Subspecialty専門研修終了後にまで続く長期的視野に立った医師像をめざす
- 4) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修プログラムを柔軟に変更可能。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
産婦人科専門研修
産婦人科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)
(1)地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	土浦協同病院 <small>(内3ヶ月、筑波学園にて 生殖医療研修)</small>	高萩協同病院	小山記念病院 <small>(専門医取得)</small>	土浦協同病院	JAとりで	土浦協同病院	高萩協同病院			初期研修2年の後7年間すべて指定病院へ派遣
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年)	土浦協同病院 <small>(内3ヶ月、筑波学園にて 生殖医療研修)</small>	高萩協同病院	小山記念病院 <small>(専門医取得)</small>	土浦協同病院	JAとりで	小山記念病院	高萩協同病院			初期研修1年目に地域内たすき、2年目が土浦協同
ケース3	初期研修(土浦協同病院2年)	土浦協同病院 <small>(内3ヶ月、筑波学園にて 生殖医療研修)</small>	高萩協同病院	小山記念病院 <small>(専門医取得)</small>	土浦協同病院	JAとりで	小山記念病院	高萩協同病院			初期研修2年を土浦協同病院で行う
(2)一般修学(義務年限6年間)											
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	土浦協同病院 <small>(内3ヶ月、筑波学園にて 生殖医療研修)</small> <small>(義務期間算入)</small>	小山記念病院	高萩協同病院	高萩協同病院	周産期、腫瘍 土浦協同病院 生殖 筑波学園病院 等					初期研修2年の後4年間すべて指定病院へ派遣
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年・土浦協同病院1年(猶予))	土浦協同病院 <small>(内3ヶ月、筑波学園にて 生殖医療研修)</small> <small>(義務期間算入)</small>	小山記念病院	高萩協同病院	高萩協同病院	小山記念病院 or 高萩協同病院 周産期、腫瘍 土浦協同病院 生殖 筑波学園病院 等					初期研修2年目が土浦協同のため、義務年限1年の延長あり
ケース3	初期研修(土浦協同病院2年)	土浦協同病院 <small>(内3ヶ月、筑波学園にて 生殖医療研修)</small> <small>(義務期間算入)</small>	小山記念病院	高萩協同病院	高萩協同病院	小山記念病院 or 高萩協同病院 周産期、腫瘍 土浦協同病院 生殖 筑波学園病院 等					初期研修2年を土浦協同病院のため、猶予活用で義務延長あり

【産婦人科専門研修研修病院群】

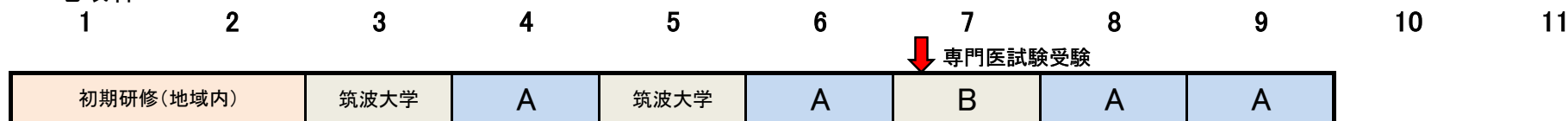
基幹病院	総合病院土浦協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	県北医療センター高萩協同病院 小山記念病院 白十字総合病院 JAとりで総合医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波学園病院
C群病院群(県外・海外病院)	田園都市レディースクリニック 東京医科歯科大学附属病院

注意事項

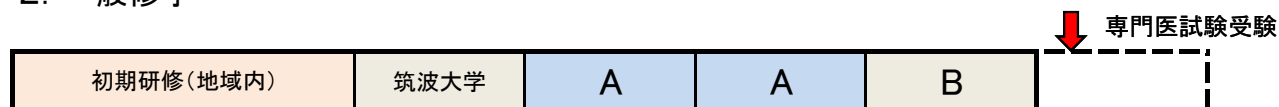
- 1) 3年目以降の義務期間は、県の指定する周産期母子医療センター等に派遣する(下記派遣対象医療機関参照)
- 2) 上記のプランは一例であり、各自のキャリア形成プランに基づき政策的優先課題を踏まえた上で地域医療対策協議会周産期医療部会などと協議し派遣病院を決定する。
- 3) 下記の病院が当プログラムで現在派遣可能な対象医療機関である。
 1. 総合周産期母子医療センター 土浦協同病院
 2. 地域周産期母子医療センター JAとりで総合医療センター
 3. 周産期救急医療協力病院 筑波学園病院 小山記念病院
 4. その他必要と認められる病院 県北医療センター高萩協同病院

筑波大学附属病院 眼科専門医プログラム

1. 地域枠



2. 一般修学



A群病院: 日立総合病院、水戸済生会総合病院、茨城西南医療センター、水戸協同病院、茨城県立中央病院、水戸赤十字病院、水戸医療センター、県西部メディカルセンター、なめがた地域医療センター、小山記念病院、龍ヶ崎済生会病院、つくばセントラル病院、牛久愛和病院

B群病院: 筑波大学附属病院、筑波学園病院、土浦協同病院、霞ヶ浦医療センター、筑波記念病院、きぬ医師会病院

3. 注意事項

- 1) 地域枠医師は原則として、初期研修で医師不足地域外の病院を選択することはできない。
4年目以降のプログラムは変更になる可能性がある。

筑波大学附属病院耳鼻咽喉科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

- 1) 各研修病院に経験豊富な指導医・専門医を擁しており、個々に合わせたキャリアを支援します
- 2) 耳鼻咽喉科専門医取得までは、耳鼻咽喉科として必須の能力をバランスよく研修します
- 3) 専門医取得後は、希望に応じて耳科・鼻科・頭頸部外科などのSubspecialtyに応じた研修を行います
- 4) 臨床研修を行いながら大学院進学が可能です
- 5) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修をアレンジします

初期研修
耳鼻咽喉科専門研修

研修例（一例、個別にアレンジします）



【耳鼻咽喉科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	県立中央病院・県立医療センター・水戸協同病院・ひたちなか総合病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波学園病院・筑波記念病院

筑波大学附属病院 腎泌尿器外科 専門医プログラム

	初期研修期間			後期研修期間							
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
一般修学(義務年限6年)のケース											
ケース1	初期研修(地域内)	筑波大学	A1	A2	B	A1					
ケース2	初期研修(地域内)	筑波大学	A1	A3	A2						
ケース3	初期研修(地域内)	A1	筑波大学	A3	A2						
ケース4	初期研修(全国可)猶予制度	筑波大学	A1	A1	A3	A3	A2				
ケース5	初期研修(全国可)猶予制度	筑波大学	A1	A1	A3	A3	B(注1)	A2			
地域医療枠:義務年限9年(医師不足地域7年従事)のケース											
ケース6	初期研修(地域内)	筑波大学	A1	A1	B	A3	A3(注1)	A3(注1)			
ケース7	初期研修(地域内)	筑波大学	A1	A2	A3	A3	B(注1)	B(注1)			
ケース8	地域内	筑波大・県内	A1	A1	A2	筑波大学	A3	A4(注1)	A4(注1)		
地域医療枠:義務年限9年(医師不足地域5年従事)のケース											
ケース9	初期研修(筑波大・県内)	筑波大学	A1	A3	B	A4	A4(注1)	A4(注1)			
ケース10	初期研修(筑波大・県内)	B	筑波大学	A1	A3	A3	A3(注1)	A1(注1)			
										注1:社会人大学院の利用も可能	
6年間終了後専門医取得											

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内中核病院)	日立総合病院、ひたちなか総合病院、水戸済生会病院、茨城県立中央病院、水戸医療センター、西南医療センター、小山記念病院、龍ヶ崎済生会病院、つくばセントラル
B群病院群(医師不足地域外中核病院)	筑波メディカルセンター病院、筑波学園病院、霞ヶ浦医療センター 等

注2:あくまでも参考例であり、ケースごとに対応可能です。

筑波大学附属病院脳神経外科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

- <特徴>
- ・医師不足地域内の3次救命救急センターを有している(日立総合病院(日立市)、茨城西南医療センター病院(境町)、水戸医療センター(茨城町))
 - ・日立総合病院、水戸医療センターは脳血管内治療も施行可能であり、水戸医療センターは脳神経血管内治療学会の研修施設にもなっている。
 - ・頭部外傷、脳卒中、神経救急などの一般的な脳神経疾患が豊富。
 - ・医師不足地域にも、例えば小児や脊椎・脊髄、脳血管外科手術などを得意とする施設があり、それぞれの病院の特性を生かした研修が可能。
 - ・経験豊富な指導医からの指導が得られるため、初期から外科治療の経験が accrue する。

<研修例> ※あくまで例であって、毎年面談を行い個別にアレンジします

初期研修
脳神経外科専門研修
脳神経外科系Subspecialty専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 (備考)

(1)地域枠(義務年限9年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	B1	筑波大学	A1	A2	筑波大学	筑波大学/B2	B2	B3/A3	A4	大学院非入学型※	
ケース2	初期研修(医師不足地域内)	B1	A1	筑波大学	A2	A3	筑波大学	筑波大学/B2	B2	B3/A4	A5	大学院非入学型※

※義務年限後に大学院に入学が可能です。

ケース3	初期研修(医師不足地域内)	B1	A1	筑波大学	A2	B2	筑波大学/B2	筑波大学	大学院研究専従(猶予)	B3/A3	A4	大学院入学型	
ケース4	初期研修(医師不足地域内)	B1	A1	筑波大学	A2	A3	筑波大学	筑波大学/B2	B2	B3/A4	大学院研究専従(猶予)	A5	大学院入学型

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	A1	筑波大学	A2	A3	筑波大学	A4	B2	以降は連携施設、関連施設、大学、大学院、留学など個々に相談
ケース2	初期研修(医師不足地域内)	A1	B1	筑波大学	A2	A3	A4	筑波大学	以降は連携施設、関連施設、大学、大学院、留学など個々に相談

【脳神経外科専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立総合病院、水戸済生会総合病院、茨城西南医療センター、水戸協同病院、茨城県立中央病院、水戸医療センター、水戸赤十字病院、茨城県立こども病院、聖麗メモリアル病院、霧見脳神経外科、高萩協同病院、つくばセントラル病院、県立医療大
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波記念病院、筑波メディカルセンター病院
C群病院群(県外・海外病院)	都立医療センター、小張病院

筑波大学附属病院 放射線科(サブスペシャリティで治療をめざす場合)

基本コース(地域枠9年) 9年県内、4.5年以上医師不足地域

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
区分	初期研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペシャリティ専攻医(放射線治療)			一人前	
勤務	医師不足地域		大学	県中	メディカル	大学	県中	ひたちなか	大学	←義務終了

基本コース(一般奨学6年) 6年県内かつ医師不足地域(専攻医の大学1年分は医師不足地域に算入可)

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	
区分	初期研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペシャリティ専攻医(放射線治療)			
勤務	医師不足地域		大学	県中	ひたちなか	県中	←義務終了		

大学院コース(地域枠9年) 9年県内、4.5年以上医師不足地域

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
区分	初期研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペシャリティ専攻医(放射線治療)			一人前	
勤務	医師不足地域		大学	県中	メディカル	大学	県中	ひたちなか	大学	←義務終了
大学院博士課程										

大学院コース(一般奨学6年) 6年県内かつ医師不足地域(専攻医の大学1年分は医師不足地域に算入可)

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	
区分	初期研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペシャリティ専攻医(放射線治療)			
勤務	医師不足地域		大学	県中	ひたちなか	県中	←義務終了		
大学院博士課程									

研修病院	医師不足地域内医療機関(A病院群)	茨城県立中央病院、ひたちなか総合病院、水戸医療センター
	医師不足地域以外の研修病院(B病院群)	筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、土浦協同病院
	県外の研修病院(C病院群)	国がん東、がん研有明、桐生厚生、JCHO東京新宿、日赤医療センター、都立駒込

それぞれの希望に応じてキャリアデザインをお手伝いします
 地域枠等の方で当科研修を希望される場合は、
 ぜひ**学生のうち**からご相談ください
 (初期研修の施設・内容についても相談に乗ります)

※この表は最短期間で義務を終了する例ですので、
 ・初期研修を筑波大学附属病院で行いたい
 ・出産・育児・介護を考えたい
 という方にも相談に乗ります

●基本領域専攻医の期間、3ヶ月程度は筑波大学附属病院で放射線診断・IVR科でのローテーション研修が必要です。

◇大学院は昼夜開講型(社会人大学院)を推奨
 専攻医(基本領域、サブスペともに)のどの年からでも入学可能です
 研究の進行具合によって、リサーチイヤーとして半年や1年など
 休職する場合は、専門医・サブスペ専門医の取得がその分遅れる場合があります

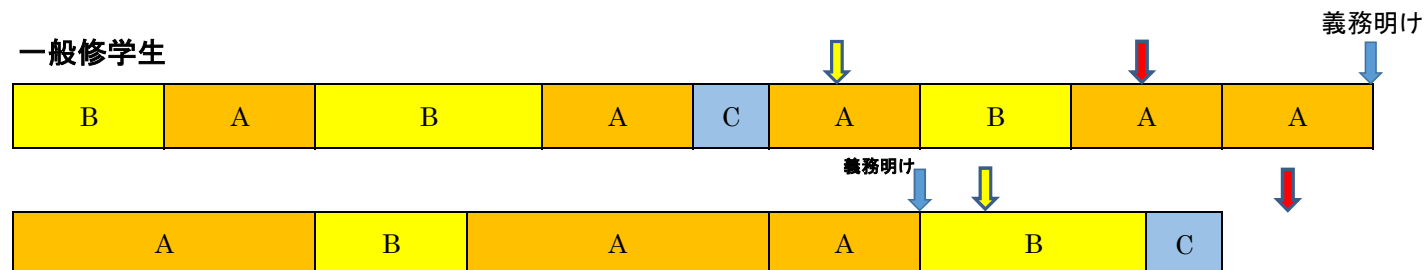
筑波大学附属病院 放射線(診断)専門医プログラム

県内・県外	区分	施設
県内	A群病院群(医師不足地域内医療機関)	茨城県立中央病院、日立総合病院
	B群病院群(医師不足地域外医療機関)	筑波大学、筑波記念病院、筑波メディカルセンター
県外	C群病院群(県外・海外医療機関)	埼玉県立小児医療センター

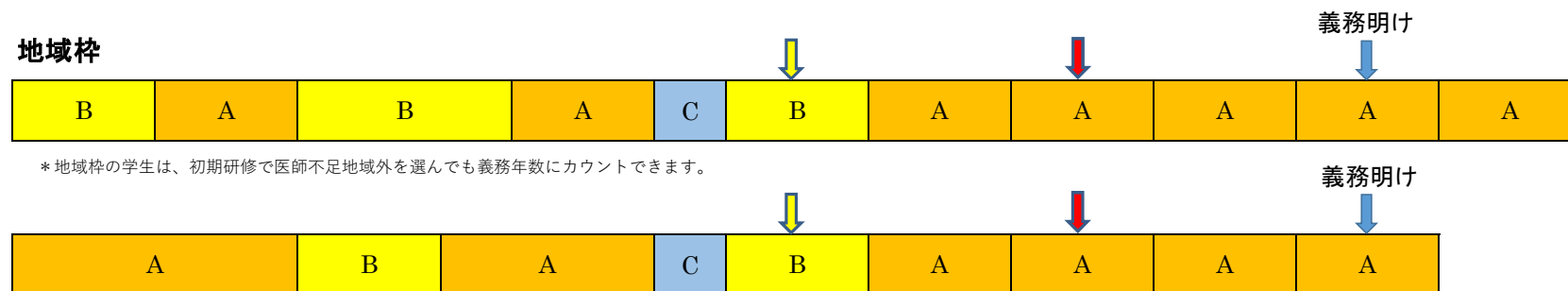
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
初期研修		放射線科専門医取得のための修練			放射線診断専門医取得のための修練					

8月に試験
8月に試験

一般修学生



地域枠

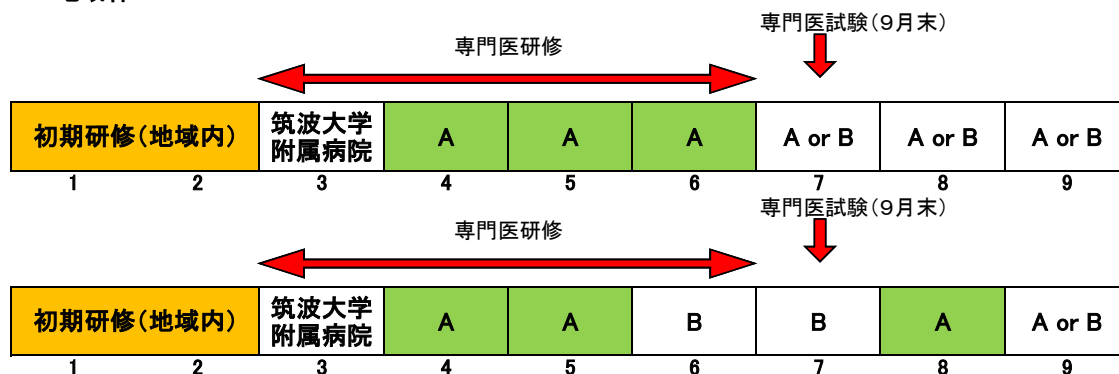


* 地域枠の学生は、初期研修で医師不足地域外を選んでも義務年数にカウントできます。

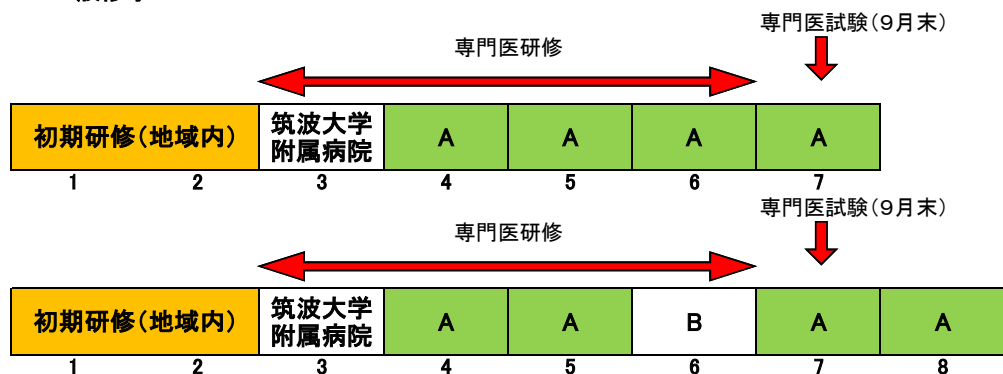
※)ただし、以上のプログラムはあくまで案であり、各施設を回る順番や年限はその時のプログラム全体で研修している専攻医や専門医の数により変更されることがあります。

筑波大学附属病院 麻酔科専門医プログラム

1. 地域枠



2. 一般修学



医師不足地域内医療機関(A): 日立総合病院、水戸済生会総合病院、水戸協同病院、茨城県立こども病院、水戸医療センター病院、茨城県立中央病院、龍ヶ崎済生会病院、JAとりで総合医療センター、つくばセントラル病院、県北医療センター*、小山記念病院*、神栖済生会病院*

医師不足地域外医療機関(B): 筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、筑波記念病院、筑波学園病院、土浦協同病院、霞ヶ浦医療センター

3. 注意事項

- 1) 地域枠、一般修学は原則として、初期研修で医師不足地域外の医療機関を選択することはできない。
- 2) 麻酔科専門医プログラムはプログラムで定めた研修施設で4年以上の研修を行うことが義務付けられているので、プログラムで定めた研修施設以外の施設(*印)への派遣は原則7年目以降とする。
- 3) 専門医プログラム研修期間中に研修を行う医療機関は、プログラムに定められた必要経験症例数を満たすように配慮され決められる。

東京医科大学茨城医療センター麻酔科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修	基幹病院（医師不足地域）
麻酔科専門研修	A群 県外

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目 12年目

（備考）

（1）地域枠（義務年限9年間）

ケース1	初期研修	麻酔科専門研修								
	基幹病院（医師不足地域）	茨城医療センター	連携施設	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）

麻酔科専門医取得 （義務年限修了）

ケース2	初期研修	麻酔科専門研修									
	基幹病院（医師不足地域）	連携施設	連携施設	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター
	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	A群 県外	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）

麻酔科専門医取得 （義務年限修了）

ケース3	初期研修	麻酔科専門研修							
	医師不足地域外	茨城医療センター	連携施設	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	茨城医療センター	
	医師不足地域外	基幹病院（医師不足地域）	A群 県外	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	基幹病院（医師不足地域）	

麻酔科専門医取得 （義務年限修了）

【麻酔科専門研修研修病院群】

基幹病院（医師不足地域）	東京医科大学茨城医療センター
A群（県外）	東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、戸田中央総合病院

筑波大学附属病院 病理診断科専門医プログラム

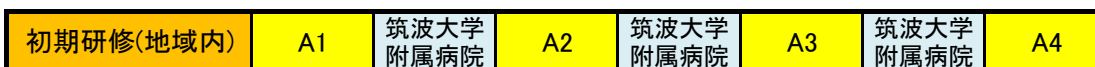
＜特徴＞ 連携施設の指導医は、つくばヒト組織診断センターに所属しており、筑波大学附属病院と連携して、豊富な症例を経験できます。
 Generalな病理専門医研修をしながら、臓器別のsubspecialityを目指すことも可能です。
 筑波大学医学医療系診断病理研究室と連携して、実験や論文作成が可能です。
 プログラム中に大学院進学もできます。
 研修中の出産、育児、介護などの状況にあわせて、研修を設定いたします。

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 11年目

(1)地域枠(義務年限9年間)

病理専門医試験受験

ケース1



病理専門医試験受験

ケース2



大学院

学位取得

(2)一般修学(義務年限6年間)

病理専門医試験受験

ケース1



A群病院	医師不足地域内医療機関	水戸協同病院、県立中央病院、水戸済生会病院、水戸医療センター 東京医大茨城医療センター 西南医療センター
B群病院	医師不足地域外医療機関	筑波大学附属病院 霞ヶ浦医療センター

筑波大学附属病院基幹『茨城県内連携次世代型救急科専門医養成プログラム』：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

茨城県内の全救命救急センターと、すべての医療圏に及ぶ主要救急医療機関全14箇所と連携し、外傷診療、集中治療、ER診療、災害医療、ドクターヘリ・ドクターカー、MC活動など、救急科専門医として求められるすべてのスキルや知識を経験できるプログラムです。3年間の研修期間の中に3ヶ月間の選択期間を設け、臨床研究・基礎研究・社会研究などの学術研修、茨城県グローバル人材養成プログラム制度を活用した海外派遣なども対応可能です。救急医療で求められるどの領域にも苦手意識なく従事でき、サブスペシャリティ研修としての集中治療専門医、外傷専門医、熱傷専門医などに移行しやすいプログラム構成になっています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
集中治療科系Subspecialty専門研修
外傷専門医・Subspecialty連動研修
基本領域ダブルボード研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

(1)地域枠(義務年限9年間)

ケース1	初期研修	救命センター群	地域中核病院群	関連施設群	筑波大学	筑波大学、日立総合病院、東京医大茨城医療センター、茨城県立中央病院、水戸済生会総合病院など		
ケース2	初期研修	地域中核病院群	救命センター群1	救命センター群2	関連施設群	筑波大学	筑波メディカルセンター病院	水戸医療センター、茨城西南医療センターなど
ケース3	初期研修	筑波大学	救命センター群	関連施設群	自由選択	地域中核病院群	筑波大学など基本領域専門医プログラム基幹病院	救命センター群

(2)一般修学(義務年限6年間)

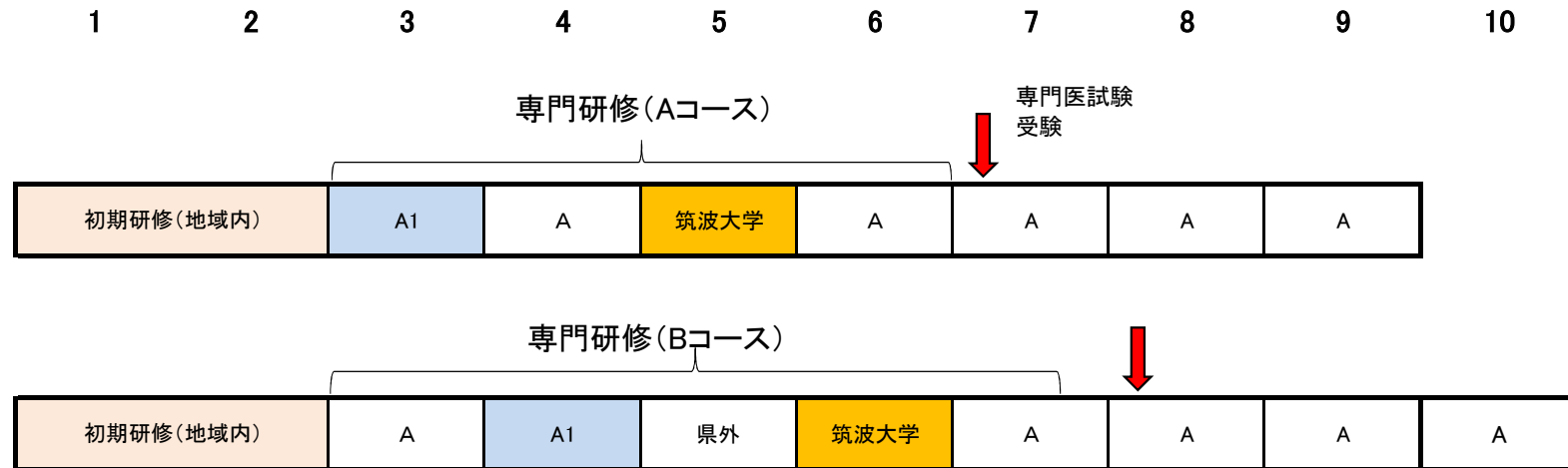
ケース1	初期研修	救命センター群	地域中核病院群	関連施設群	筑波大学	筑波大学、日立総合病院、東京医大茨城医療センター、茨城県立中央病院、水戸済生会総合病院など	
ケース2	初期研修	地域中核病院群	救命センター群1	救命センター群2	関連施設群	筑波大学	筑波メディカルセンター病院
ケース3	初期研修	筑波大学	救命センター群	関連施設群	自由選択	地域中核病院群	筑波大学など基本領域専門医プログラム基幹病院

【救急科専門医研修病院群】

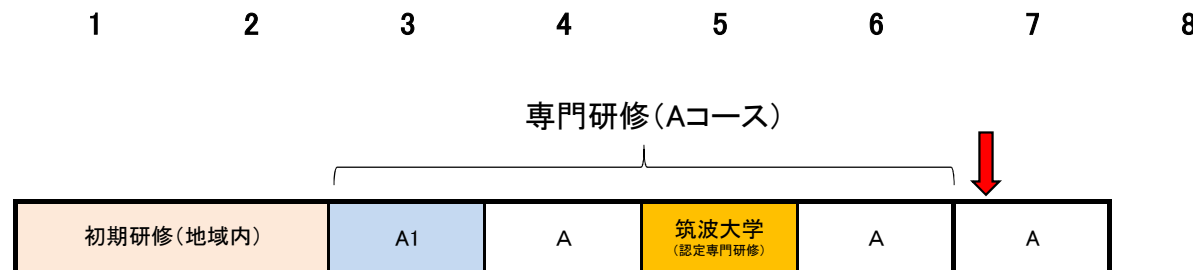
基幹病院	筑波大学附属病院	
救命センター群	A群病院群(医師不足地域内病院)	国立病院機構水戸医療センター、水戸済生会総合病院、日立製作所日立総合病院、茨城西南医療センター病院
	B群病院群(医師不足地域外病院)	土浦協同病院、筑波メディカルセンター病院
地域中核病院群	A群病院群(医師不足地域内病院)	茨城県立中央病院、なめがた地域医療センター、東京医大茨城医療センター、茨城県西部メディカルセンター、牛久愛和総合病院
関連施設群	A群病院群(医師不足地域内病院)	ひたちなか総合病院、常陸大宮済生会病院
自由選択群	C群病院群(県外・海外病院)	専門医取得上必要な症例を研修する県内外ハイボリュウムセンター、県海外グローバル人材派遣事業などの海外研修など

筑波大学附属病院 形成外科専門医プログラム

1. 地域枠



2. 一般修学



A病院群	茨城西南医療センター、嶋崎病院、湖南病院、古河病院、木根淵胃腸科外科病院、常陸大宮済生会病院、県西部メディカルセンター、水戸済生会総合病院、県立中央病院、水戸医療センター、水戸赤十字病院
B病院群(医師不足地域外病院)	筑波学園病院
筑波大学附属病院	筑波大学附属病院

筑波大学附属病院 リハビリテーション科専門医プログラム

1. 地域枠(9年間)

<一般モデルケース>

1	2	3	4	5	6	7	8	9
初期研修(地域内)		筑波大学 リハ・脳外・整形・ 小児・救急など	B1/B2	A2	A1	筑波大学 県医療大	A1/A2	A1/A2

↑ 専門医試験受験

1	2	3	4	5	6	7	8	9
初期研修(地域外) (筑波大学or県南地域)		筑波大学 リハ科	A2	A2	A1	A1/A2	A1/A2	A1/A2

↑ 専門医試験受験

<大学院進学ケース>

1	2	3	4	5	6	7	8	9	(10)	(11)
初期研修(地域内)		筑波大学 リハ・脳外・整形・ 小児・救急など	A2	A1	県医療大 筑波大学	県医療大 筑波大学	(猶予) 大学院	(猶予) 大学院	A1/A2	A1/A2

↑ 大学院入学

2. 一般修学(6年間)

1	2	3	4	5	6	7
初期研修(地域内)		筑波大学 リハ・脳外・整形・ 小児・救急など	A2	A1	A1/A2	

↑ 専門医試験受験

A群病院 医師不足地域内医療機関	A1群:急性期病院	県立中央病院、水戸赤十字病院、牛久愛和病院
	A2群:回復期病院	日立製作所ひたちなか総合病院、志村大宮病院、茨城県立医療大学、JAとりで医療センター
B群病院 医師不足地域外医療機関	B1群:急性期病院	筑波大学附属病院、土浦協同病院、筑波学園病院
	B2:回復期病院	筑波記念病院

3. 注意事項

- ・一般修学医師は原則として、初期研修で医師不足地域外の病院を選択することはできない。
- ・地域枠医師は、初期研修で医師不足地域外の病院を選択することも可能。
- ・専門医試験までに、回復期病棟のある病院(A2もしくは、B2)での研修が1年間必要となる。

筑波大学附属病院 総合診療専門研修プログラム<初期研修を医師不足地域で行うケース>

<特徴>

- ・どこで研修してもきちんと指導が受けられる指導体制を実現しています。総合診療の指導医は40名以上が在籍しています。
- ・大学病院のプログラムですが、実際の研修は80%以上が市中病院、診療所で行われるので、さまざまなシチュエーションで数多くの経験を積むことができます。
- ・総合診療専門医のサブスペシャリティとして、家庭医療にも病院総合診療にも対応します。また、緩和医療、在宅医療に進む道もあります。
- ・大学院博士課程で研究(研究専従期間は義務猶予となります)をしたり、出産・育児にあわせたコーディネートをしたり、豊富なキャリアパスを用意しています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修	総合診療専門研修プログラム
総合診療専門研修Ⅰ	
総合診療専門研修Ⅱ	
必修領域別研修(内科、小児科、救急)と大学総診	
選択領域別研修(緩和、整形、産婦、リハ等)	

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	(備考)				
(1)地域枠(義務年限9年間)															
ケース1	初期研修(地域内)	筑波大学	筑波メディカル	水戸協同	診療所・小病院	小児	選択	病院内科	診療所・小病院	選択	診療所・小病院	診療所・小病院	家庭医療に重点を置いたコース		
	B	B	A	A	B	B	A	A	A or B	A or B	A or B				
	(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)														
ケース2	初期研修(地域内)	筑波メディカル	筑波大学	診療所等	水戸協同	選択	小児	病院内科	診療所・小病院	水戸協同	選択	病院総合診療科	病院総合診療に重点を置いたコース		
	B	B	A	A	B	B	A	A or B	A	A or B	A or B				
	(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)														
ケース3	初期研修(地域内)	筑波メディカル	筑波大学	水戸協同	診療所・小病院	病院内科	小児	緩和	緩和医療に強い診療所	選択	非がん緩和医療に強い病院・診療所	非がん緩和医療に強い病院・診療所	緩和医療に重点を置いたコース		
	B	B	A	A	A	B	B	A	A or B	A or B	A or B				
	(総合診療専門医・家庭診療専門医取得) (緩和医療専門医取得)														
ケース4	初期研修(地域内)	筑波大学	筑波メディカル	水戸協同	診療所・小病院	小児	選択	病院内科	診療所・小病院	筑波大学*1	産休・育休	筑波大学*1	診療所・小病院	診療所・小病院	出産・育児とのバランスに重点を置いたコース *1: 女性医師支援制度を利用した週30~32時間勤務
	B	B	A	A	B	B	A	A	B	B	B	A or B	A or B		
	(総合診療専門医・家庭医療専門医取得)														
ケース5	初期研修(地域内)	筑波大学	筑波メディカル	水戸協同	診療所・小病院	小児	選択	病院内科	診療所・小病院	大学院専従(猶予)	診療所・小病院	診療所・小病院	診療所・小病院	学位と専門医を取得するコース	
	B	B	A	A	B	B	A	B			B	A	A or B		
	(大学院 入学) (総合診療専門医・家庭医療専門医取得) (大学院卒業)														
(2)一般修学(義務年限6年間)															
ケース1	初期研修(地域内)	筑波大学	筑波メディカル	水戸協同	診療所・小病院	病院内科	選択	小児	診療所・小病院	病院・診療所			地域枠同様、専攻医の希望に応じたアレンジができます		
	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A					
	(猶予期間) (総合診療専門医・家庭医療専門医取得)														

【総合診療専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	総合診療専門研修Ⅰ施設: 北茨城市民病院附属家庭医療センター、大森医院、 総合診療専門研修Ⅱ、領域別研修施設: 北茨城市民病院、ひたちなか総合病院、水戸協同病院、茨城西南 ひたち太田家庭医療診療所、小豆畑病院、笠間市 医療センター、神栖済生会病院、つくばセントラル病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	石岡第一病院、筑波メディカルセンター病院、霞ヶ浦医療センター
C群病院群(県外・海外病院)	希望がある場合は適宜相談(義務は猶予期間となり、研修プログラムの履修期間も延長が必要となる)

筑波大学附属病院 総合診療専門研修プログラム〈初期研修を医師不足地域外で行うケース〉

〈特徴〉

- ・どこで研修していてもきちんと指導が受けられる指導体制を実現しています。総合診療の指導医は40名以上が在籍しています。
- ・大学病院のプログラムですが、実際の研修は80%以上が市中病院、診療所で行われるので、さまざまなシチュエーションで数多くの経験を積むことができます。
- ・総合診療専門医のサブスペシャリティとして、家庭医療にも病院総合診療にも対応します。また、緩和医療、在宅医療に進む道もあります。
- ・大学院博士課程で研究(研究専従期間は義務猶予となります)をしたり、出産・育児にあわせたコーディネートをしたり、豊富なキャリアパスを用意しています。

〈研修例〉 ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
総合診療専門研修Ⅰ
総合診療専門研修Ⅱ
必修領域別研修(内科、小児科、救急)と大学総診
選択領域別研修(緩和、整形、産婦、リハ等)

総合診療専門研修プログラム



【総合診療専門研修研修病院群】

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	総合診療専門研修Ⅰ施設: 北茨城市民病院附属家庭医療センター、大森医院、ひたち太田家庭医療診療所、小豆畑病院、笠間市立病院、大和クリニック、利根町国保診療所 総合診療専門研修Ⅱ、領域別研修施設: 北茨城市民病院、ひたちなか総合病院、水戸協同病院、茨城西南医療センター、神栖済生会病院、つくばセントラル病院
B群病院群(医師不足地域外病院)	石岡第一病院、筑波メディカルセンター病院、霞ヶ浦医療センター
C群病院群(県外・海外病院)	希望がある場合は適宜相談(義務は猶予期間となり、研修プログラムの履修期間も延長が必要となる)

北茨城市民病院総合診療科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

保健・医療・介護の連携に向けて、包括的に医師の立場から健康にかかわる問題についての助言、臓器別の領域を超えた標準的な医療の提供ができる総合診療専門医を養成します。附属の診療所である家庭医療センターで、総合診療専門研修Ⅰを研修できるため、密な連携が取れます。院外研修として、学校医や北茨城コミュニティーケア研究会などに参画し、地域医療の重要性を現場から吸収できる環境を整えています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
総合診療科専門研修
総合診療科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	(備考)	
(1)地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	初期研修	市民病院	A1または市民病院	A2	A2	A5 (家庭医療)	*A	*A	北茨城市民病院を含む医師不足の地域中小病院(総合診療科) ※ 修学資金貸与者及び県との相談による。		内科研修をA群または市民病院で実施したケース。
		内科		小児科 救急科		(総合診療科専門医取得)					
ケース2	初期研修	市民病院	B1	A2	A2	A5 (家庭医療)	*A	*A	北茨城市民病院を含む医師不足の地域中小病院(総合診療科) ※ 修学資金貸与者及び県との相談による。		内科研修を筑波大学附属病院で実施したケース。専門医プログラム中1年間で医師不足地域外となる。
		内科		小児科 救急科		(総合診療科専門医取得)					
*Aについては、専攻医の希望により連携施設から整形外科、精神科、皮膚科を選択可能											

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修	市民病院	A1または市民病院	A2	A2	A5 (家庭医療)	*A	*A	北茨城市民病院を含む医師不足の地域中小病院(総合診療科) ※ 修学資金貸与者及び県との相談による。		内科研修をA群または市民病院で実施したケース。
		内科		小児科 救急科		(総合診療科専門医取得)					
ケース2	初期研修	市民病院	B1	A2	A2	A5 (家庭医療)	*A	*A	北茨城市民病院を含む医師不足の地域中小病院(総合診療科) ※ 修学資金貸与者及び県との相談による。		内科研修を筑波大学附属病院で実施したケース。専門医プログラム中1年間で医師不足地域外となる。
		内科		小児科 救急科		(総合診療科専門医取得)					
*Aについては、専攻医の希望により連携施設から整形外科、精神科、皮膚科を選択可能											

【総合診療科専門研修研修病院群】

基幹病院	北茨城市民病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立総合病院、茨城県立こころの医療センター、茨城県立こども病院、北茨城市民病院附属家庭医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、筑波大学(臨床疫学)
C群病院群(県外・海外病院)	—